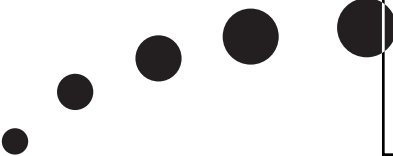
DVD 5.1ch サラウンドシステム

HTZ- 77DV

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報等のご案内をさせていただきます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用できます。)

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

絵表示について

このたびはパイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

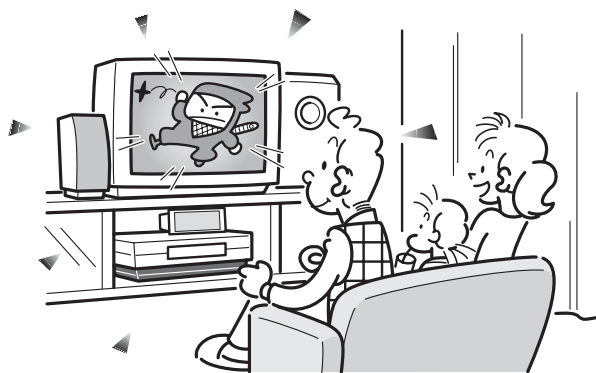
● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

こんなことができます

DVDプレーヤーの機能とAVサラウンドアンプの機能が一体化したことにより、誰もが簡単にDVDでホームシアターを楽しむことができます。

デモ表示機能により､自動的にいろいろな表示が行われます。この機能を解除する場合は、裏表紙の「デモ表示について」を参照してください。

お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます。（45ページ参照）

お好みの視点（アングル）が選択できます

DVDに収録されている､同じ風景でも視点を変えた映像を見ることができます。（44ページ参照）

お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選んだり、字幕表示を消したりできます。（44ページ参照）

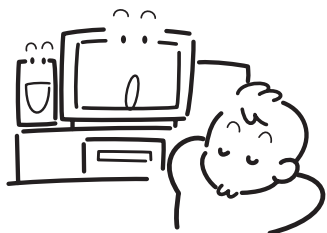
多彩なディスクフォーマットの対応による幅広い音楽シーン

DVDビデオディスクはもちろんのこと、ビデオCDや音楽CD、CD-R、CD-RWにいたるまで、幅広く音楽シーンを楽しむことができます。また、MP3ファイル形式で圧縮された音楽データが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することもできます。

映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるドルビーデジタル*／DTS**対応

5.1チャンネルで収録された映画／音楽DVDソフトを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。（28～29ページ参照）

DOLBY DIGITAL

DIGITAL dts SURROUND

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「DOLBY」、「Pro Logic」、「ドルビー」、「プロロジック」及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

** DTS、及びDTS Digital Surroundは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

本製品は電源オフ時（スタンバイ時）の消費電力値を1W以下に抑えた、省エネルギー設計です。

もくじ

基礎知識

ホームシアターを簡単に楽しむ前に

準　備

初期設定

本機のセットアップ

基本編

DVD や VCD、CD を使う

ラジオを聞く

サラウンドを使う

応用編

DVD や VCD、CD を使う

サラウンドを使う

タイマー動作

その他

ホームシアターを簡単に楽しむ前に

DVD の標準音声フォーマットは、大きく分けて「ドルビーデジタル」と「DTS」の 2 つが現在主流とされています。

● ドルビーデジタルとは....

DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声フォーマットのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流とされているドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。このソフトを、本機を通して再生することで臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

● DTSとは....

DIGITAL dts SURROUND

DTSとは、デジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

● DVD ソフトの音声記録方式を確かめるには. .

DVDソフトのパッケージを確認してください。(全てのソフトに以下と同じ表示がされているとは限りません。)

ドルビーデジタル5.1chで記録されているソフト

日本語/5.1ch サラウンド　DOLBY DIGITAL

② 1.英　語（5.1ch サラウンド）
2.日本語（5.1ch サラウンド）　DOLBY DIGITAL

→ 右ページ②をご覧下さい。

ドルビーデジタル5.1chで記録されていないソフト

② 1. オリジナル(英語)/ ドルビーサラウンド
2. 日 本 語 吹 替 / ドルビーサラウンド

② 1. 日本語（ドルビー・デジタル・ステレオ）
2. 英語（ドルビー・デジタル・ステレオ）

→ 右ページ③をご覧下さい。

英語音声のみドルビーデジタル5.1chで記録されているソフト

② 1. 英語（5.1ch サラウンド）
2. 日本語（2ch サラウンド）　DOLBY DIGITAL

→ 1.のときは右ページ②を、
2.のときは右ページ③をご覧下さい。

DTS サラウンドで記録されているソフト

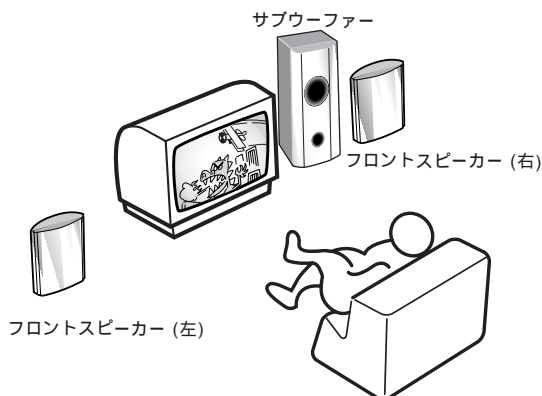
日本語（DTS サラウンド）　DIGITAL dts SURROUND

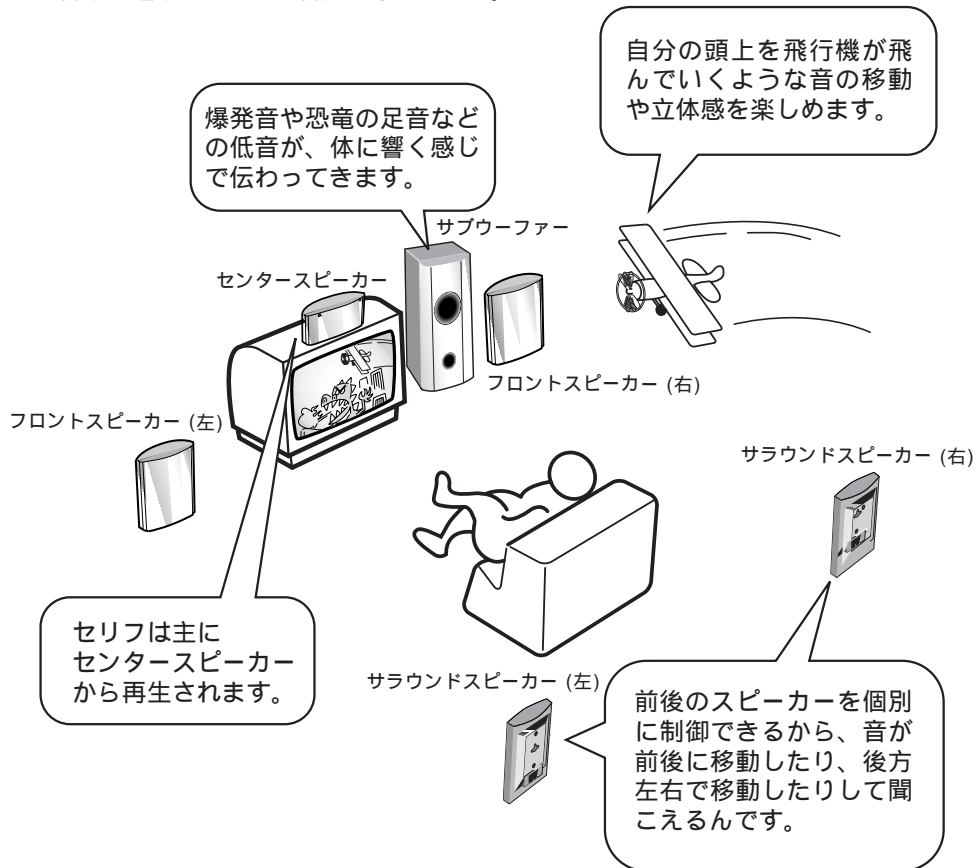
→ 右ページ②をご覧下さい。

① ステレオ再生とは. .

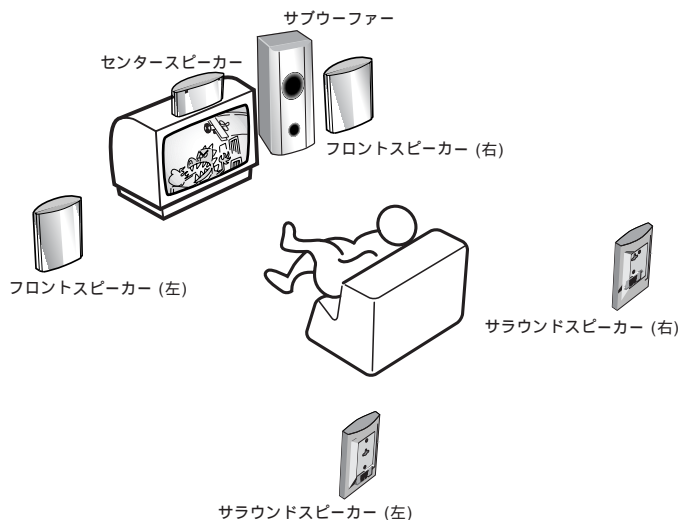
左右2つのスピーカーから別々の音が再生されます。

通常の音楽用CDは、このステレオ2chで録音されています。

本機のようにスピーカーが5本とサブウーファーが接続されているシステムでも、音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

② ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは．．

ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、全部で5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

③ ドルビープロロジック再生とは．．

DOLBY SURROUND

ソフトのパッケージに、ドルビーサラウンド（DOLBY SURROUND）とかドルビーステレオ（DOLBY STEREO）と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。
ただし、ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）やDTS サラウンドで記録されたソフトとは違い、ドルビーサラウンドやドルビーステレオで記録されているソフトは2チャンネル信号です。この2チャンネル信号からセンター、サラウンド（右、左）、サブウーファーの音を作り出します。このときサラウンドスピーカーは左右同じ音（モノラル）で再生されます。

本機で再生できるディスクの種類

本機で再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

*1 **DVD-Rディスクの再生について**
本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

*2 **DVD-RWディスクの再生について**
- 本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機では、ビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
また、DVDビデオフォーマット記録、およびビデオレコーディングフォーマット記録については、72ページも合わせてご覧ください。

*3 **CD-R/CD-RWディスクの再生について**
本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。

*4 **(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(72ページ参照)。**

■ MP3の再生について

- ISO9660CD-ROMファイルシステムに従って記録してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません。（再生できる場合、表示窓の時間表示が早くなったり遅くなったりします。）
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子(P.72)がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(P.72)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー / トラックの名前は最大8文字まで表示します(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前は「F_001」/「T_001」のようにMP3ナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー / 総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

■ 本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが**「2」「ALL」**以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ・DVD-ROM・DVD-RAM・フォトCD・CD-Gなど

注意

◆ 本機はアダプター(CD用)を使用しないで8cmCDを再生することができます。8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。
◆ レコーダー、またはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクは、再生できません。
◆ ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
◆ DVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

本機で再生できるディスクの種類

DVD に表示されているマークについて

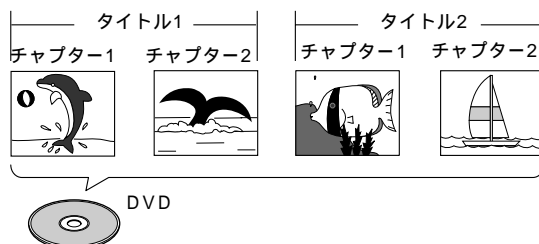
DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

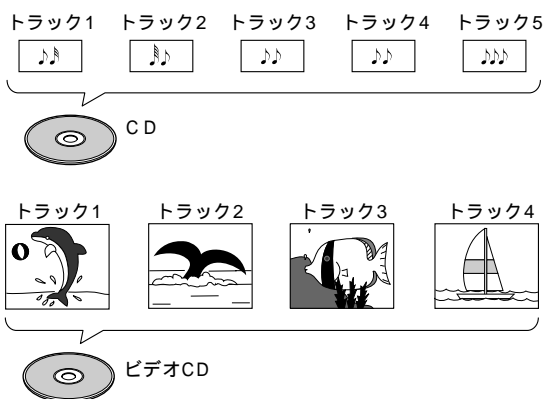
マーク	意　味
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16：9 LB	記録されている映像のアスペクト比
2 ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

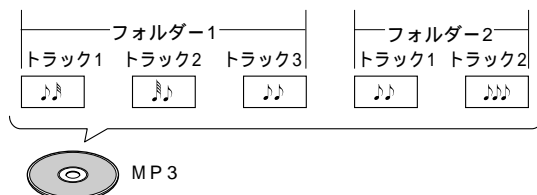
DVD の操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク( )を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク( )を表示します。

DVD のとき

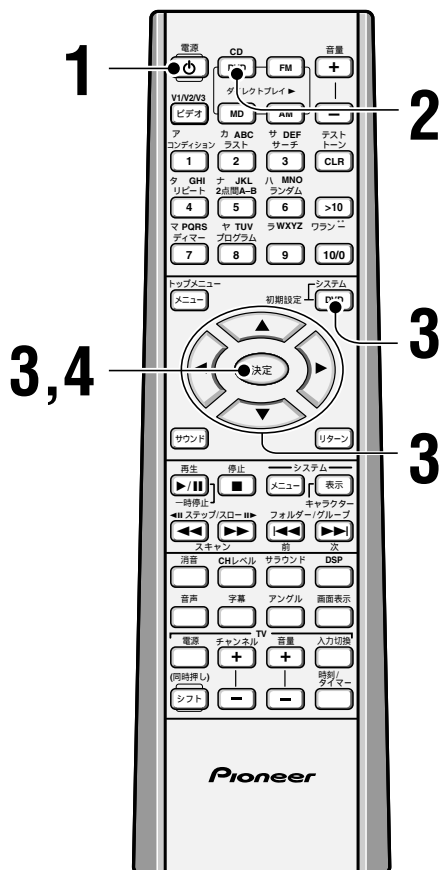
DVD、ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは 1 曲が 1 タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

CD/VIDEO CD のとき

CD やビデオ CD ではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

MP3 のとき

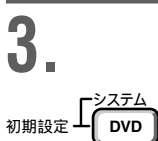
MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。MP3 ファイルが入っているフォルダーには「F_001、F_002・・・」、フォルダー内のファイルには「T_001、T_002・・・」というように自動的に番号をつけます。

DVD の設定をする

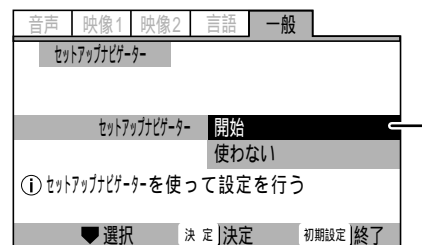
ここでは、「言語（画面表示言語）」と「接続したテレビの種類」を本機のセットアップナビゲーターという機能を使って簡単に設定します。
ただし再生中には設定することはできません。
言語（画面表示言語）が日本語のまま使用し、ワイドテレビをご使用の場合は本操作は不要です。

1. 電源 ⏻ ボタンを押して、電源を ON にします

電源

あらかじめテレビの電源はオンにしておきます。
すでにディスクがセットされていて再生を開始した場合は、停止（■）ボタンを押して停止させます。

2. DVD/CD ボタンを押します

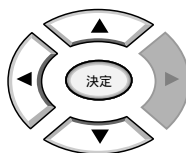
CD
DVD

3. DVD 初期設定ボタンを押します

初期設定 システム DVD

セットアップナビゲーターを開始するときに選択します。

メニュー画面の操作のしかた

決定

カーソルの上下移動 .... △/▽
選択項目の決定 .... 決定ボタン
前の画面に戻る .... ◁

各画面の下の部分に、操作できる内容が表示されます。

［開始］を選択したら、決定ボタンを押します

セットアップナビゲーターが開始されます。

4. 言語（画面表示言語）を選びます

決定

メモ

▼ セットアップナビゲーター機能では基本的な設定を行います。より細かな設定は、手順3で[使わない]を選んだ後、DVD初期設定画面で操作します（49ページ以降）。

▼ 手順3で[使わない]を選ぶと、次回からセットアップボタンを押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなります。
セットアップナビゲーターで再設定したい場合は、DVD初期設定画面の［一般］から、[セットアップナビゲーター］を選んで操作してください。（50ページ参照）

▼ セットアップナビゲーター機能で設定した内容を出荷時に戻す場合は、電源をオフにして、本体の停止(■)ボタンを押しながら本体のⓘスタンバイ/オンボタンを押してください。

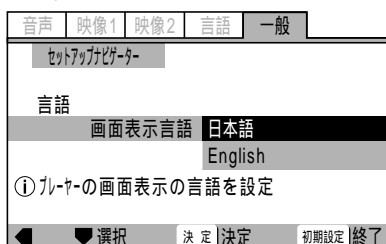
▼ セットアップナビゲーターは、設定された項目を確認するためのモードではありません。設定内容を確認する場合は、手順3で[使わない]を選んだ後、DVD初期設定画面で確認します

▼ ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。

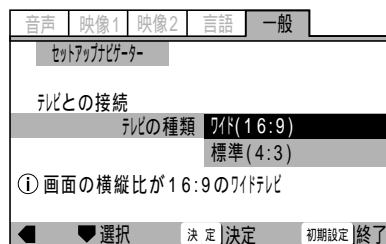
注意

◆ 画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、音声言語でも選択されます(55ページ)。

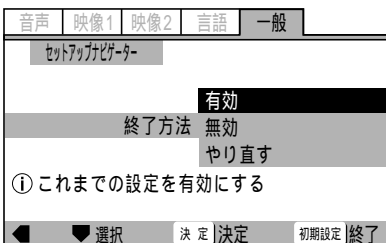
5.

日本語、または英語から選びます。△ ▽ボタンで選択後、決定ボタンを押します

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。（出荷時の設定）
English ：画面表示の言語が英語になります。

6. 接続したテレビの種類を選びます

△ ▽ボタンで選択後、決定ボタンを押します。

ワイド(16:9)　：ワイド(16:9)のテレビと接続したとき選択します。
標準(4:3)　：従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

7. 設定を終了します

△ ▽ボタンで選択後、決定ボタンを押します。

有効　：これまでの設定内容を有効にします。
無効　：これまでの設定内容を無効にします。
やり直す：セットアップナビゲーターを使って行った設定をはじめからやり直します。

映像の見えかた

映像の見えかた（ディスクによっては自動的に選択される場合があります。）

パンスキャンまたはレターボックスで記録されている DVD ディスクを、従来サイズのテレビに接続してみるとき

本機の設定	映像の見えかた	備 考
パンスキャン	○ **画面の左右が切れますが正しく見えます**	このように見たくない場合は、本機の設定を[レターボックス]に切り換えてください。
レターボックス	○ **上下に帯がつきますが正しく見えます**	
ワイド	× **縦長に見えます**	このように見える場合は、本機の設定を[パンスキャン]または[レターボックス]に切り換えてください。

注意

以下の場合は、設定通りに機能しません。

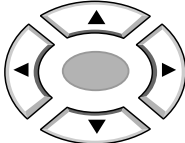
- 市販の DVD- ビデオが設定したアスペクト変換を禁止しているとき。
  多くの DVD- ビデオは、「ワイド」と「レターボックス」のみの視聴が可能です。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

スピーカーの基本設定

本機のサラウンド効果を最大限に引き出すには、以下のスピーカーの設定が必要です。とくに DTS やドルビーデジタル対応の DVD ソフトを再生する場合は、スピーカーの基本設定が重要な役割を果たします。一度登録した設定内容は本機に記憶されるため、システムを使用するたびに設定し直す必要はありません（ただしリスニングルームを変更したときには、設定し直す必要があります）。

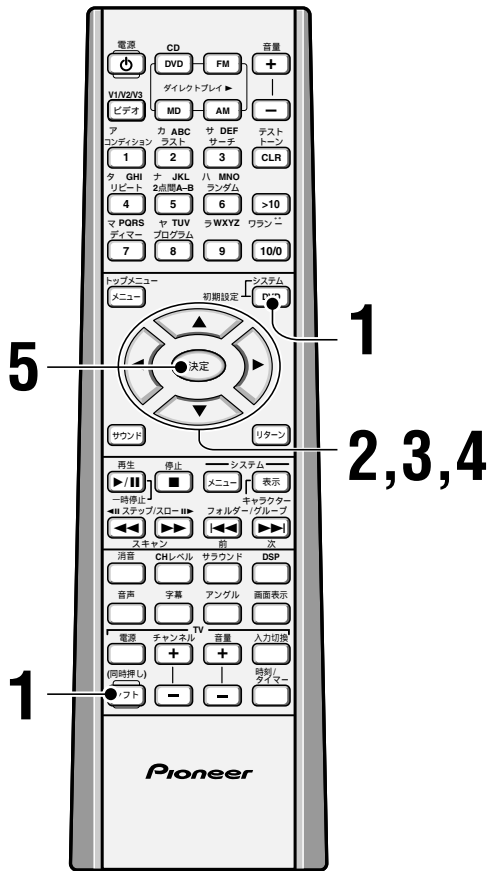
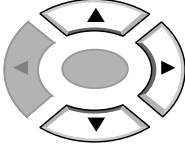
① スピーカーまでの距離の設定
実際のリスニングポジション（視聴位置）から各スピーカーまでの距離を本機に設定することで、サラウンド効果を最大限に引き出します。

② スピーカー出力レベルの設定
リスニングポジション（視聴位置）からの距離に合わせ、それぞれのスピーカー出力が等しくなるように設定します。

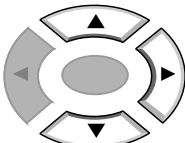
ここでは、基本となる 2 つの設定だけを行います。より高いサラウンド効果を体験する場合は、28 ページの「サウンドモードの設定」で、より細かな設定を行ってください。

スピーカーまでの距離の設定

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。この設定をすることで、最適なサウンド効果を得ることができます。

1. シフトボタンを押しながら、システム初期設定ボタンを押します

(同時押し) シフト

2. ◁ ▷ ボタンで「FRONT」を選択し、フロントスピーカーの距離を設定します

```
FRONT  SP 3.0m
```

△/▽ ボタンを押して、スピーカーからの距離を設定します

押すごとに 0.3m 間隔で、0.3m 〜 9m の範囲内で設定することができます。（初期値：3m）

3. ▷ ボタンで「CENTER」を選択し、センタースピーカーの距離を設定します

```
CENTER SP 3.0m
```

△/▽ ボタンを押して、スピーカーからの距離を設定します

押すごとに 0.3m 間隔で、0.3m 〜 9m の範囲内で設定することができます。（初期値：3m）

4. ▷ ボタンで「SURR」を選択し、サラウンドスピーカーの距離を設定します

```
SURR.  SP 3.0m
```

△/▽ ボタンを押して、スピーカーからの距離を設定します

押すごとに 0.3m 間隔で、0.3m 〜 9m の範囲内で設定することができます。（初期値：3m）

5. 決定ボタンを押して、設定を終了します

20 秒間何も操作をしないと、決定ボタンを押さなくても設定が終了されます。

メ モ

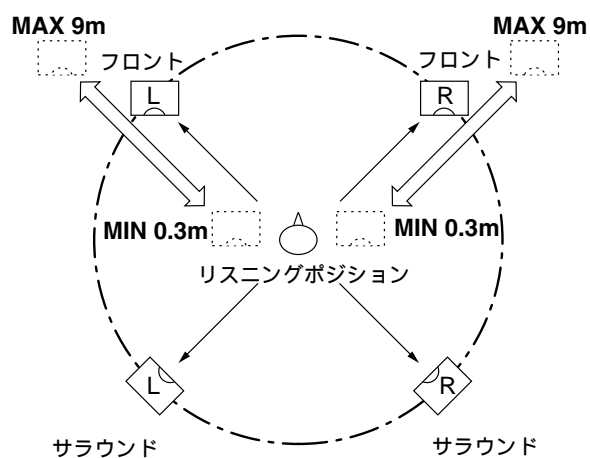
▼ より細かな設定を行う場合は、62 ページからの「応用編 / サラウンドを使う」をご覧ください。

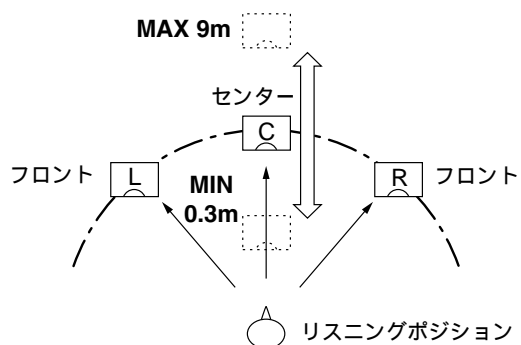
注 意

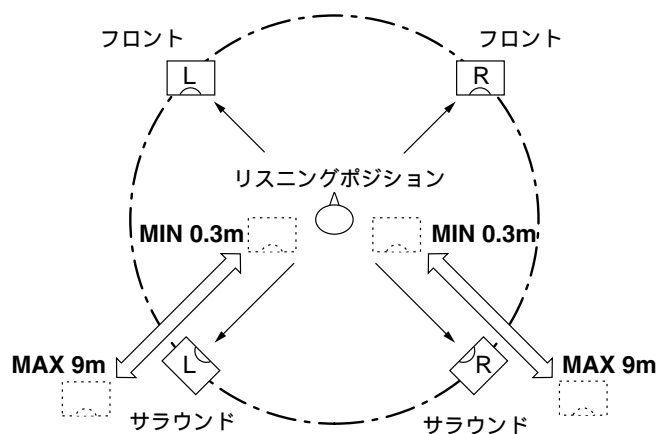
◆ ADVANCED THEATER モードにおいて、"VIRTUAL SURROUND1" か "VIRTUAL SURROUND2" が設定されている場合は、設定したスピーカーからの距離設定は無効になります。

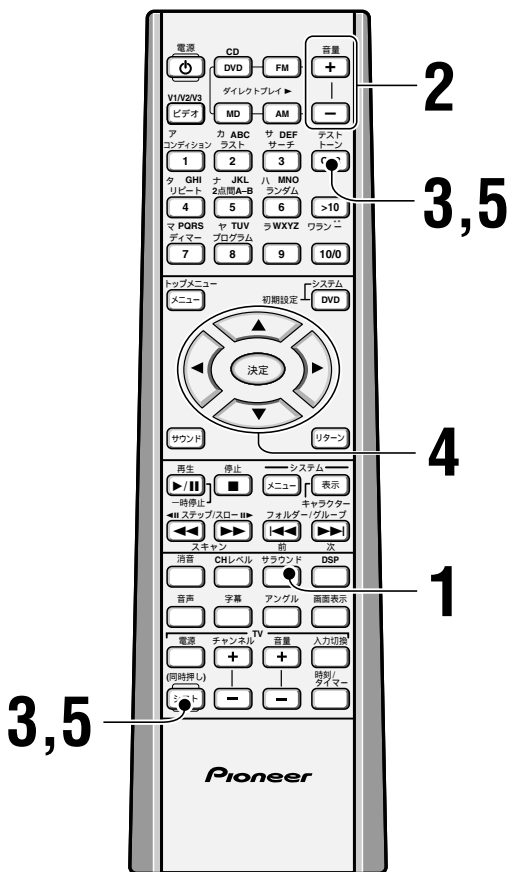
スピーカーまでの距離の設定

フロントスピーカーとの距離の設定

フロントスピーカーの距離の設定を行います。

センタースピーカーとの距離の設定

センタースピーカーの距離の設定を行います。

サラウンドスピーカーとの距離の設定

サラウンドスピーカーの距離の設定を行います。

スピーカーの出力レベルを設定する

リスニングポジション（視聴位置）からの距離に合わせて、各スピーカーの出力レベルを調整します。テストトーンを耳で実際に確かめながらスピーカーの再生レベルを調整します。

1. サラウンドボタンを押して、スタンダードモードにします

サラウンド

STANDARD

"**SURROUND OFF**" か "**AUTO**" が選択されているとテストトーンは再生されません。サラウンドボタンを押して、他のモードに変更してください。

準備

2. 音量を下げておきます

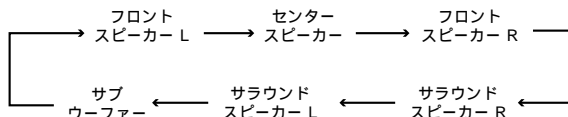
音量 ＋ −

テストトーンは大きな音で再生されますので、あらかじめボリュームで音量を下げておきます。

3. シフトボタンを押しながら、テストトーンボタンを押します

(同時押し) シフト

テストトーン CLR

以下の順序で、各スピーカーのテストトーンを自動的に切りかえて再生 されます。

4. 調整したいスピーカーから音が出ているときに △ ▽ ボタンを押して、出力レベルを調整します

視聴位置から聞こえる各スピーカーのテストトーンが同じ大きさになるように調整します
調整範囲は、± 10 ｄＢです。

5. すべてのスピーカー の設定が終了したら、シフトボタンを押しながら、テストトーンボタンを押します

(同時押し) シフト

テストトーン CLR

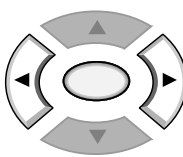
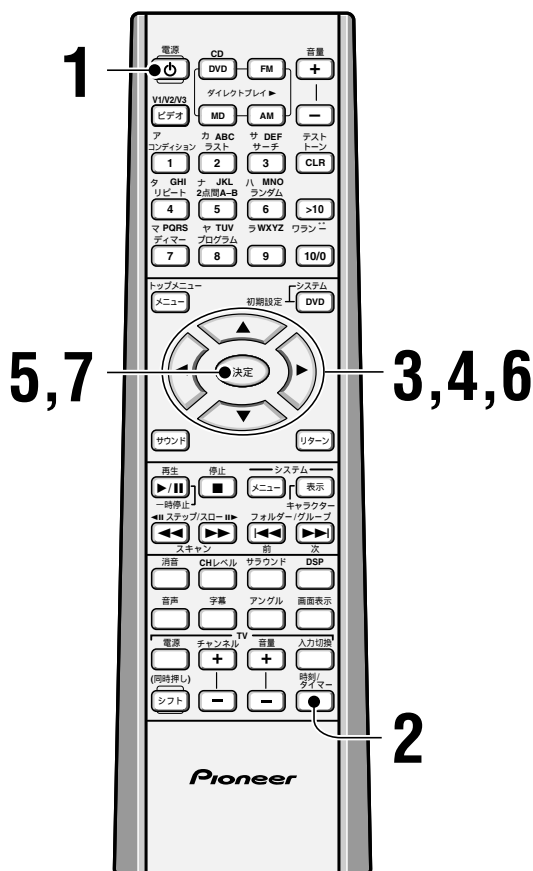
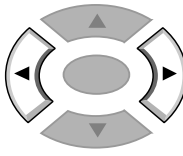
テストトーンが消えて、出力レベルの設定が終了します。

メ モ

▼ テストトーンが全てのスピーカーから再生されるか、また再生される順序が正しいかでスピーカーの接続が正しく行われたか知ることことができます。
▼ 一般的に、サブウーファーからの音量は実際よりも小さく聞こえます。実際に通常モードで再生して確認することをおすすめします。

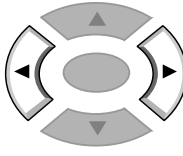
注 意

◆ ヘッドホンを挿入していると、この機能を使用することはできません。

時計をあわせる

時刻は 12 時間表示です。
時計をあわせていないと、タイマー動作（64～66ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を 24 時間表示に切りかえることもできます。（67 ページ参照）

1. **電源⏻ ボタンを押して、電源をONにします**

2. **時刻 / タイマーボタンを押します**

3. **◁/▷ ボタンを押して表示部に"CLOCK ADJUST"を表示さてから、決定ボタンを押します**

CLOCK ADJUST

4. **◁/▷ ボタンで、時計の「時」を合わせます**

9:00 am

例の場合は、12 時間表示です。
時計表示は、24 時間表示に変更できます。

5. **決定ボタンを押します**

6. **◁/▷ ボタンで、時計の「時」を合わせます**

9:23 am

7. **決定ボタンを押します**

セットした時刻が点滅します。これで時計の設定が終了しました。

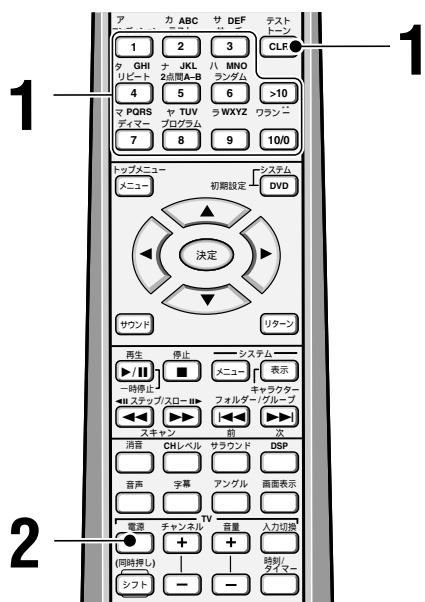
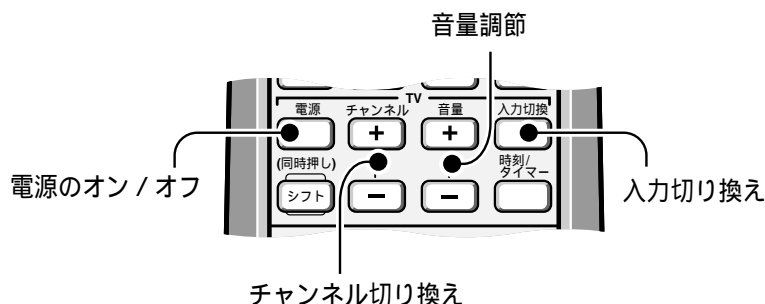
メ モ

▼ 電源がオフ（スタンバイ状態）のときや電源オンで時計表示がされていないときに時刻を知りたいときは、システム表示ボタンを押します。時計が表示されます。もう一度押すと消灯します。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜いてしまうと、再び電源コードを接続しても時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

リモコンにテレビのメーカーを設定する

ご使用のテレビのメーカーに該当するものが下記の「メーカーコード一覧表」にある場合、本機付属のリモコンにテレビのメーカーを設定することができます。本機に付属のリモコンからテレビに対して次の操作ができるようになります。

1. CLR（テストトーン）ボタンを押しながら、3 桁のメーカーコードを入力します。

テスト トーン CLR

お使いのテレビのメーカーコード（3 桁の数字）を下表を参考に入力します。

例）テレビがパイオニアの場合：テスト トーン CLR ボタンを押したまま 1 、1 、8 の順にリモコンの数字ボタンを押します。

2. 動作するかを確認します

リモコンをテレビに向け、TV［電源］ボタンを押して、テレビの電源がオン、オフできることを確認してください。
うまくいかないときは、もう一度初めから設定し直してください。

メーカーコード一覧表

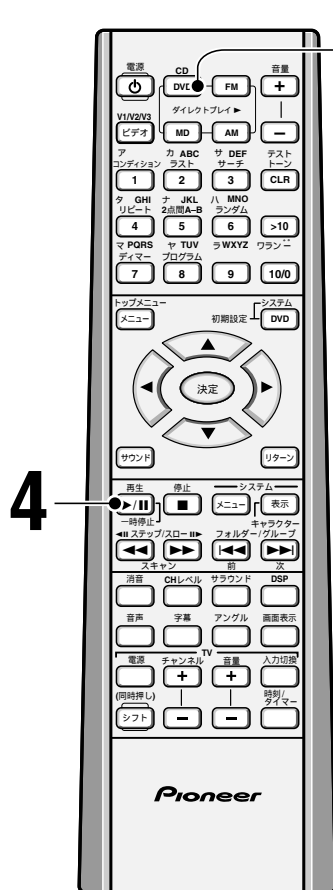
- メーカーで複数のメーカーコードがある場合、うまくいくまで順次設定を行ってください。
また、右表に記載されているメーカーのリモコンでも、製品によっては設定できないことがあります。

メーカー名	メーカーコード
アイワ	138　142　143
NEC	104　105
ORION	128
サンヨー	111　149　152　153　154　197
JVC	114　158　159　167　184
シャープ	124　120　150　187
ソニー	125　188
東芝	107　124　189
パナソニック	100　101　102　151　193
日立	113　104　183
フィリップス	116　119
FUJITSU	139　156　157　160
FUNAI	136　137　140　141　155　146　147
三菱	117　104　105　124　172　198
パイオニア	118　101　107

ディスクを再生する

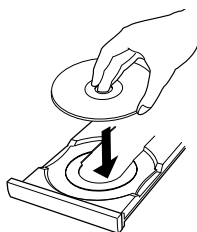
DVD/ CD/ VIDEO CD/ MP3

1. DVD/CDボタンを押します

CD DVD

2. 本体のトレイ開/閉（▲）ボタンに触れます

OPEN/CLOSE ▲

このボタンはタッチセンサーですので、軽く触れただけでディスクトレイが開きます。

3. ディスクトレイのミゾに合わせて、ディスクを置きます

印刷面を上側に向けてセットします。
ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは71ページをご覧ください。

4. 再生/一時停止（▶/II）ボタンを押します

再生 ▶/II 一時停止

ディスクトレイが閉まり、再生を開始します。
本体にある再生/一時停止（▶/II）ボタンは、タッチセンサーですので、軽く触れただけで操作できます。
MP3では、ディスク情報を読み込み中、画面に**「しばらくお待ち下さい」**と表示されます。

5. メニュー画面が表示されたとき

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

DVDのメニュー画面の操作

カーソルの移動 .... △/▽/◁/▷
選択項目の決定 .... 決定ボタン
最初の画面に戻る ... トップメニューボタン
メニュー画面を出す .... メニューボタン
前の画面に戻る .... リターンボタン
メニューの番号を選ぶ............... 数字ボタン

(同時押し)
シフト
トップメニュー
メニュー
トップメニュー
メニュー

注 意

◆ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは71ページをご覧ください。
◆ プログラムメモリー(41ページ参照)をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。
◆ DVDメニューの操作のしかたは、ディスクによって違います。ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

カーソルボタン(△/▽/◁/▷)で選択項目を選び、決定ボタンを押します。
選択項目の番号と同じ数字ボタンで選ぶこともできます。

VIDEO CD のメニュー画面の操作

前のページ画面に戻る.................. ⏮（前）

次のページ画面に進む.................. ⏭（次）

メニューの番号を選ぶ.............. 数字ボタン

選択キー............ 再生 / 一時停止（▶/II）ボタン

操作のしかたは、ディスクによって違います。ディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

選択項目の番号と同じ数字ボタンで選びます。
メニュー画面が2ページ以上ある場合は、⏮ **(前)**、⏭ **(次) ボタン**を押してページを戻したり、進めたりします。

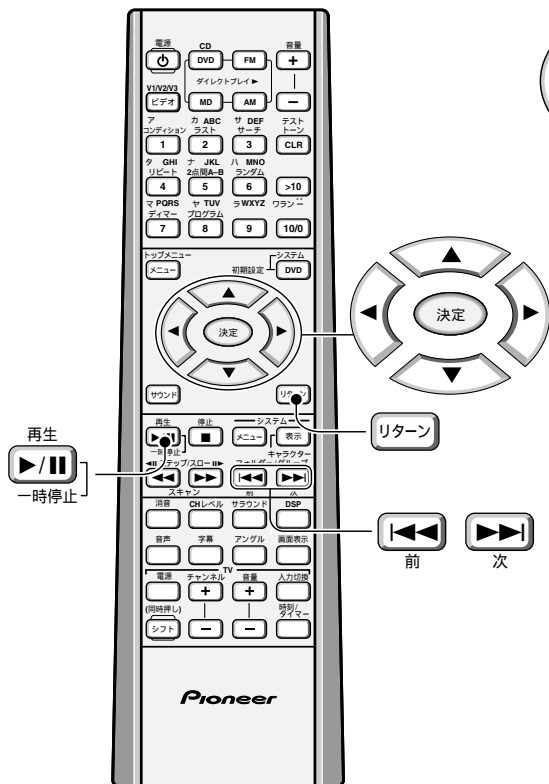
メニュー画面を表示させるには

DVDでは再生中にメニューボタンを押します。ビデオCDではPBC再生中（12ページ参照）に**リターンボタン**を押します。
ただし、ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なります。

メニュー画面を消すには

上記の「メニュー画面を表示させるには」と同じボタンを押します。

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生をしないでVCDを再生するには）

あらかじめ停止中に、**数字ボタン**を押して、再生したいトラックを選んでから再生を開始します。

見たい項目にスキップするには

次のチャプター / トラックへ進む場合は、再生中に ▶▶| （次）ボタンを押します

一回押すと、次のチャプター / トラックに進みます。

前のチャプター / トラックへ戻る場合は、再生中に |◀◀ （前）ボタンを押します

一回押すと再生中のチャプター / トラックの始めに戻ります。
続けて |◀◀（前）ボタンを押すと、前のチャプター / トラックの始めに戻ります。

ディスクを一時停止するには（静止画再生）

再生中に、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押します

ビデオ CD の PBC 再生の場合に一時停止するには、シフトボタンを押しながらステップ／スロー（II▶）ボタンを押して下さい。

通常の再生に戻すには

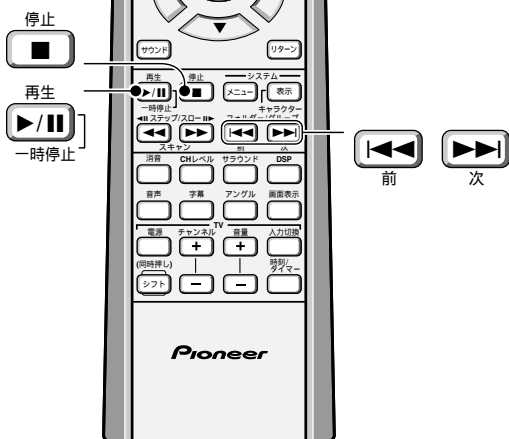
一時停止中(静止画再生中)に、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押します。

再生を停止するには

停止（■）ボタンを押します

DVD またはビデオ CD では、ディスプレイ部の表示窓に"RESUME"と表示され、停止した場所を記憶します。（リジューム機能）

リジューム機能とは

再生中に停止した場所を記憶する機能です。映画など見ているときに、途中で停止しても、また続きから見ることができます。
再生(▶)ボタンを押すと、停止（■）ボタンを押した場所から再生を始めます。
停止中にもう一度停止(■)ボタンを押すと、リジューム機能は解除します。

メ モ

▼ DVD では、リジューム機能が働いているとき |◀◀ボタンまたは▶▶|ボタンを押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能が解除されているとき再生(▶)ボタンを押すとタイトル 1 の始めから再生します。
▼ リジューム機能はディスクトレイを開閉すると解除されます。ディスクの入れかえをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶させておきたいときはラストメモリー機能(P.43)をお使いください。

ディスクを早送り / 早戻しする DVD/ CD/ VIDEO CD/ MP3

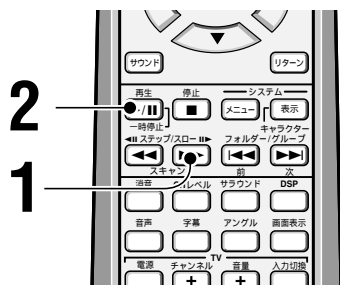
早送りをする

1. **再生中にスキャン（▶▶）ボタンを押します**

スキャン中は画面に「**▶▶1**」が表示されます。

2. **見たい / 聞きたい場所で、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押します**

再生 ▶/II 一時停止

その場所から再生が始まります。

早戻しをする

1. **再生中にスキャン（◀◀）ボタンを押します**

スキャン中は画面に「**◀◀1**」が表示されます。

2. **見たい / 聞きたい場所で、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押します**

その場所から再生が始まります。

早送り / 早戻しの速さを変える

DVD では 3 段階（**1 → 2 → 3**）、ビデオ CD/CD では 2 段階（**1 → 2**）に切り換えることができます。MP3 では 1 段階のみとなります。

早送りの速さを変えるには、再生中に ▶▶ ボタンを押します

押すごとに速さが以下のように切り換わります。

▶▶ 1 → ▶▶2 → ▶▶3

→ **速い**

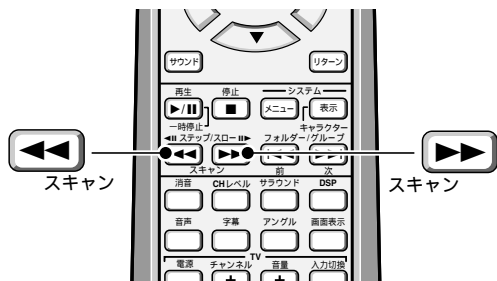
通常の再生に戻すには、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押す。

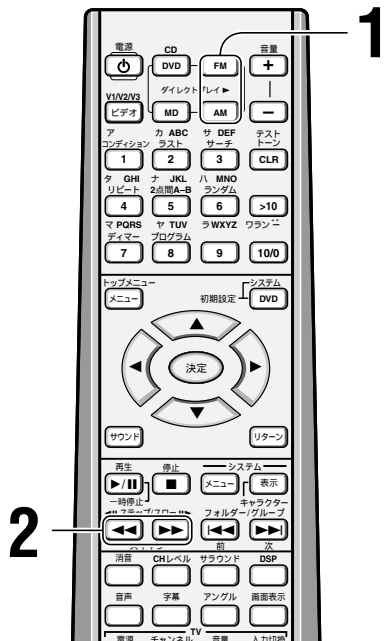
早戻しの速さを変えるには 、再生中にスキャン（◀◀）ボタンを押す

押すたびに速さが以下のように切り換わります。

◀◀ 1 → ◀◀2 → ◀◀3

→ **速い**

通常の再生に戻すには、再生 / 一時停止（▶/II）ボタンを押す。

FM/AM 放送を聞く

アンテナが接続されていないと、FM/AM 放送を聞くことはできません。別冊の**「システムセットアップガイド」**を参照して、アンテナを接続してください。

1. FM 放送を聞くときには FM ボタン、AM 放送を聞くときには AM ボタンを押します

ラジオが聞ける状態になります。

FM　87.50MHz

AM　531kHz

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで聞きたい放送局に周波数を合わせます

周波数の合わせ方（チューニング）のしかたには、以下の 3 種類があります。

オートチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します

周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると止まり、表示部に Y が点灯します。FM ステレオ放送のときは ⓞⓞ も一緒に点灯します。
途中で止めるときは、もう一度 ◀◀ ▶▶ ボタンを押すか、停止(■)ボタンを押します。

マニュアルチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを 1 回ずつ押します

周波数が 1 ステップずつ変化します。
1 ステップは、FM 放送が 0.05MHz、AM 放送が 9kHz です。

ハイスピードマニュアルチューニング

◀◀ ▶▶ ボタンを押し続けます

ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

メ モ

▼ 電源がオフの時でも、FM ボタンか AM ボタンを押すと、電源が入りラジオ放送を聞くことができます。（ダイレクトパワーオン）
▼ 本機はテレビ放送の 1 ～ 3 チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。
▼ 1ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは 67 ページを参照してください。
▼ △/▽ボタンでも周波数を合わせることができます。

注 意

◆ FM放送の90MHz～108MHzはテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。
◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時に FM 放送が混信することがあります。

FM 放送に雑音が多いとき（モノラル受信にする）

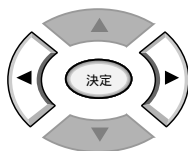
遠い放送局や電波の弱い地域などでFMのステレオ放送に雑音が多いときは、モノラル受信にして放送を聞きやすくします。

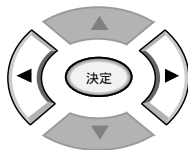
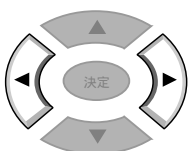
2,3,4

2,3,5

1

1. システムメニューボタンを押します

2. ◁/▷ ボタンを押して、表示部に "TUNER MENU" を表示させ、決定ボタンを押します

TUNER MENU

3. ◁/▷ ボタンを押して、表示部に "FM AUTO/MONO"を表示させ、決定ボタンを押します

4. ◁/▷ ボタンを押して、"FM MONO"にします

FM MONO

FM のステレオ放送をモノラルで受信します。

FMのステレオ放送をステレオで受信するようにするには

◁/▷ ボタンを押して、"FM AUTO" にします

FM AUTO

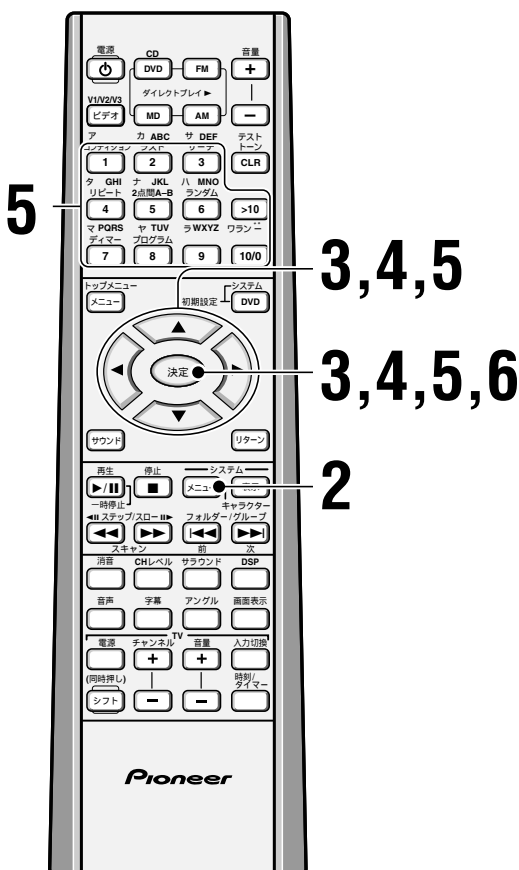
5. 決定ボタンを押します

決定

注 意

◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合は、 は点灯しません。

放送局を記憶して簡単に選ぶ

FM/AM 放送あわせて 30 局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

受信した放送局を記憶させる

1. **記憶したい放送局を受信します**

FM 放送に雑音が多い場合はモノラル演奏にして、放送を聞きやすくします。（23 ページ参照）

2. **システムメニューボタンを押します**

システム
メニュー　表示

3. **◁/▷ ボタンを押して、表示部に "TUNER MENU" を表示させ、決定ボタンを押します**

TUNER MENU

4. **◁/▷ ボタンを押して、表示部に "STATION MEMORY"を表示させ、決定ボタンを押します**

STATION MEMORY

5. **◁/▷ ボタンで、記憶するステーションを選びます**

記憶するためのステーションは 1 〜 30 まであります。

6. **決定ボタンを押して記憶させます**

決定

表示が点滅しステーションに受信中の放送局が記憶されます。

注 意

◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。

◆ 停電や電源プラグを抜いた状態で 2、3 日以上放置した場合、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

放送局を記憶して簡単に選ぶ

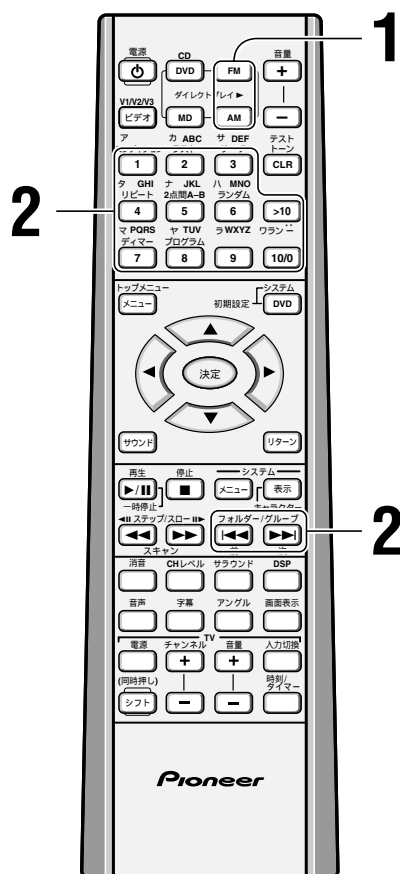
24 ページにて、各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

記憶した放送局を呼び出す

1. FM / AM

FM ボタンか AM ボタンを押します

ラジオが聞ける状態になります。

2. 前 / 次

⏮/⏭ ボタンで記憶したステーションを選びます

リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます

ステーション番号と同じ数字ボタンを押すと、ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

１〜９　：番号のボタンを押します。

10　：10/0 を押します。

11〜30：>10 を押してから番号を選びます。

（例）　25：>10 2 5

メ モ

▼ ◁/▷ボタンでも記憶したステーションを選ぶことができます。

記憶させた放送局に名前をつける

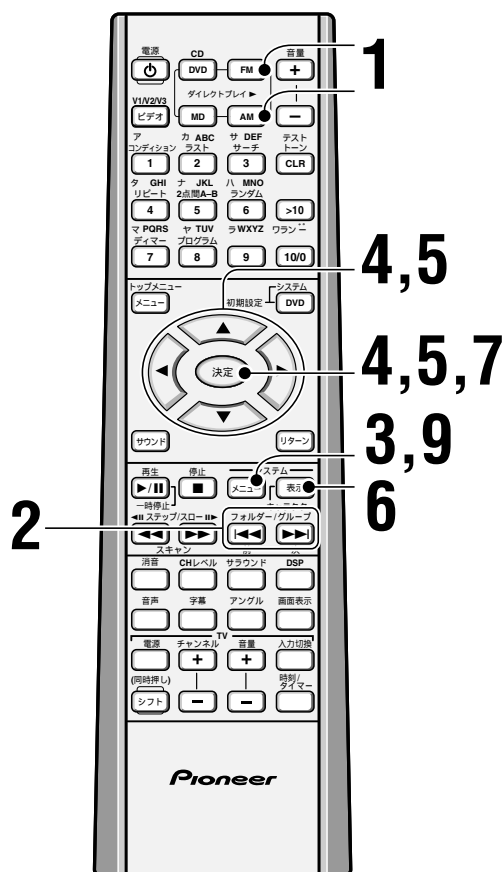
記憶させた放送局（ステーション）に、9 文字以内で名前をつけることができます。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # $ % & ’ ( ) ＊
+ , ー . / : ; < = > ? @ _ ` □（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛ ゜ ー□（空白）

1.

FM ボタンか AM ボタンを押します

ラジオが聞ける状態になります。

2.

|◀◀/▶▶| ボタンで記憶したステーションを選びます

3.

システムメニューボタンを押します

4.

◁/▷ ボタンを押して、表示部に "TUNER MENU" を表示させ、決定ボタンを押します

TUNER MENU

5.

◁/▷ ボタンを押して、表示部に "STATION NAME" を表示させ、決定ボタンを押します

STATION NAME

6.

入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します

"N" を入力する場合は、6 ボタンを 2 回押します。

ST 1 N

文字の種類は、キャラクターボタンを押して変更します

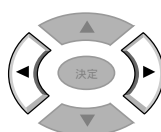
7.

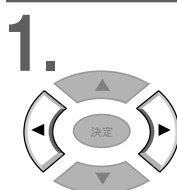
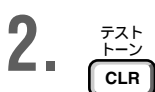
決定を押して決定します

8. **手順6と7を繰り返して、すべての文字を入力します**

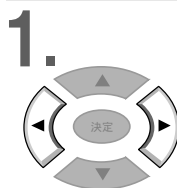
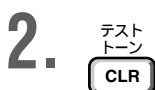
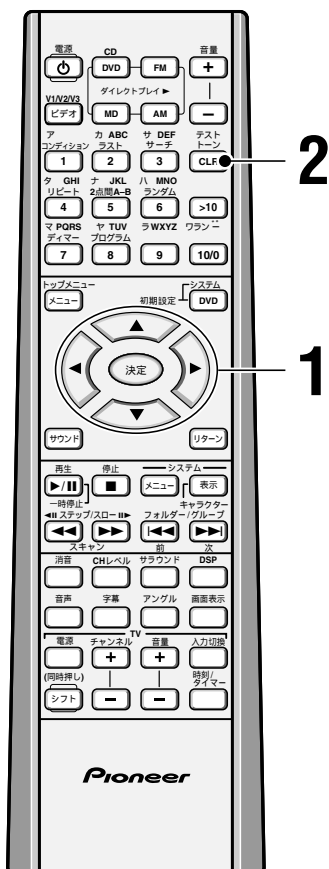
9. **システムメニューボタンを押して終了します**

途中で文字の入力を止める場合は、停止(■)ボタンを押します。

文字を追加するには

文字入力中に、◁/▷ボタンを押して点滅を追加する文字位置まで移動させてから、追加する文字を入力します

文字を削除するには

1. **文字入力中に、◁/▷ボタンを押して点滅を削除する文字位置まで移動させます**

2. **クリアーボタンを押します**

文字が削除されます。

文字を変更するには

1. **文字入力中に、◁/▷ボタンを押して点滅を変更する文字位置まで移動させます**

2. **クリアーボタンを押して文字を削除し、新しい文字を入力します。**

メ モ

▼ 名前のついたステーションの周波数を確認するときは、キャラクターボタンを押すと、選ばれているステーションの周波数を約3秒間表示します。

サラウンドモードを設定する

ドルビーデジタルや DTS（デジタルシアターシステム）、2 チャンネル音声などで収録されたソフト（基礎知識の 6 〜 7 ページ）の音声を、どのスピーカーとサブウーファーから音を出すのか設定することができます。
また、映画のサウンドトラックやその他のあらゆる AV ソフトを最適な音声で楽しむために、それぞれのシーンに合った音声効果を 6 つの中から選択することができます（ADVANCED THEATER モード）。再生する映画または音楽ソフトに合わせて選択してください。
ただし、96kHz/24 ビットのデジタル信号では設定することができません。また、DSP モード（30 ページ参照）と一緒に使用することもできません。

- **AUTO**

  収録されたソフトがドルビーデジタルや DTS 対応音声の場合は、収録されているチャンネル数と同じ数のスピーカーとサブウーファーから原音に忠実に再生されます。
  また CD などの 2 チャンネル音声の場合は、左右のフロントスピーカーとサブウーファーから、ステレオ 2.1 チャンネルで再生されます。

- **STANDARD**

  収録されたソフトがドルビーデジタルや DTS 対応音声の場合は、収録されているチャンネル数と同じ数のスピーカーとサブウーファーから原音に忠実に再生されます。
  またCDなどの2チャンネル音声の場合は、ドルビープロロジック処理により左右のフロントスピーカーからはステレオ音声、左右のリアスピーカーからはモノラル音声、それとセンタースピーカーとサブウーファーの6本のスピーカーから再生されます。

- **ADVANCED THEATER モード**

  収録されたソフトの音声を STANDARD と同じ処理をした上でさらに、以下の 6 つの音声効果を楽しむことができるモードです。

  MUSICAL
  ほとんど球に近い理想の空間での反射音を再現します。ヨーロッパにある大型コンサートホールをシミュレートしています。音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生に効果的です。

  DRAMA
  リアスピーカーからの音が一体となって、1 つの大きなスピーカーのように響くイメージで、落ち着いた雰囲気で映画を楽しんでいただけます。古くからある中型の映画館をシミュレートしています。幅広い範囲でサラウンド効果が楽しめ、直接音もしっかりと響きます。ストーリー性重視の映画の再生に効果的です。

  ACTION
  包み込むような空間での反射音を再現します。大きい音がしっかり定位し、躍動感、スピード感が楽しめます。アクションシーンや戦闘、爆発シーンの迫力が、包み込むように再現され、映画の迫力や臨場感を、あますところなく楽しんでいただけます。最新の大型の映画館をシミュレートしており、アクション系の映画の再生に効果的です。

  VIRTUAL　SURROUND 1（VIRTUAL　SURR.1）
  リアスピーカーの設置が困難な場合に、フロントスピーカーとサブウーファーのみで仮想立体音響を実現するモードです。（このときリアスピーカーとセンタースピーカーからは音が出ません。）

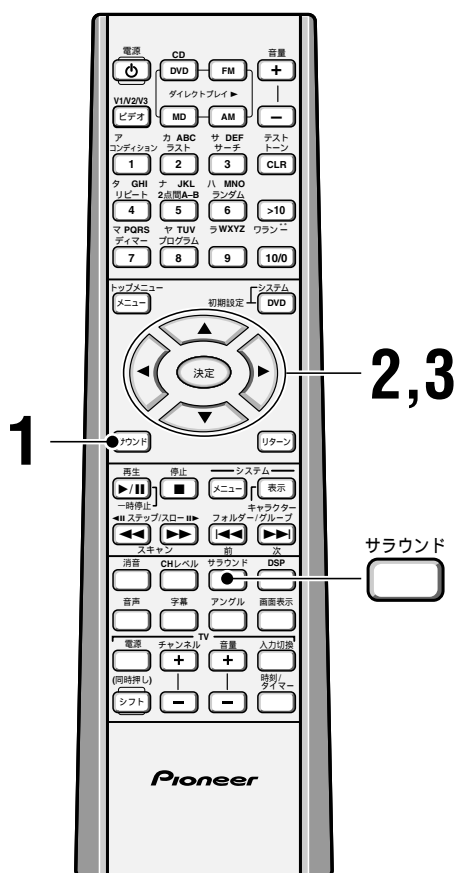
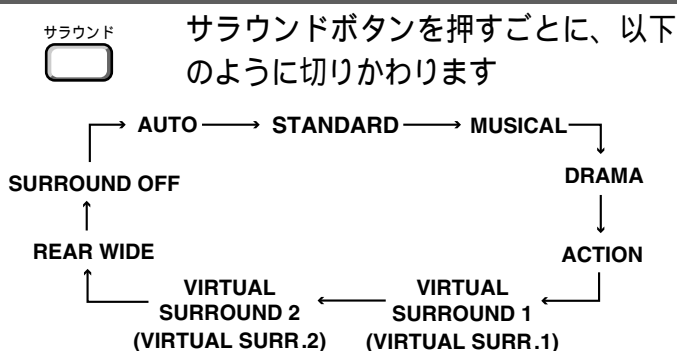
  VIRTUAL　SURROUND 2（VIRTUAL　SURR.2）
  リアスピーカーの設置が困難な場合に、フロントスピーカーのそばにリアスピーカーを設置して、仮想立体音響を実現するモードです。（このときセンタースピーカーからは音が出ません。）

  REAR WIDE
  ドルビープロロジックではリアの音声はモノラルになっていますが、このモードではそれを疑似ステレオ化して、広がり感を持たせることができます。

- **SURROUND OFF**

  どの音声信号で収録されたソフトも、左右のフロントスピーカーとサブウーファーから再生されます。

サラウンドモードを切りかえる

サラウンドボタンを押すごとに、以下のように切りかわります

ADVANCED THEATER モードの効果レベルを調整する

1. サウンドボタンを押します

2. ◁/▷ ボタンを押して表示部に"EFFECT"を表示させます

EFFECT 70

3. △/▽ ボタンで効果レベルを調整します

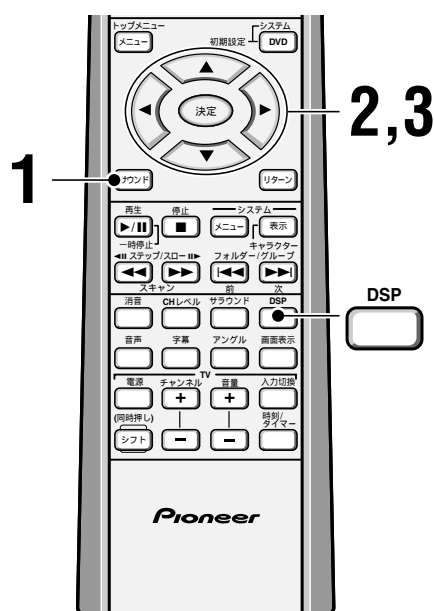
現在設定されている ADVANCED THEATER モードの効果を、10から90までの範囲で調整することができます。

注 意

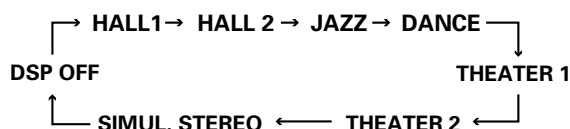
◆ 96kHz/24ビットのデジタル信号再生時は、サラウンドモードは操作することができません。（一時的に OFF になります。）

DSP モードを設定する

DSP（Digital Signal Processing）モードは、音楽CDのような標準のステレオ（2チャンネル）ソフトやDVDでもドルビーサラウンド対応ソフトを最適な環境で楽しむためのモードです。もちろん、5.1チャンネルで収録された音声でも使用できますが、サラウンドモードと一緒に使用することはできません。

- **HALL 1**
  大型のコンサートホールをシミュレートしています。クラシック系の音楽に適しています。反射音の遅延時間帯が長く、さらに残響音を加えることでコンサートホール特有の美しい響きと、オーケストラの迫力が楽しめます。
- **HALL 2**
  石（コンクリート製）のコンサートホールをシミュレートしています。残響音豊かな本格的コンサートホールの響きを楽しむことができます。クラシック音楽などで自然な広がりを感じていただけます。
- **JAZZ**
  一般的なジャズクラブをシミュレートしています。音の響きが強くなるのが特徴です。反射音のほとんどが 100ms 以下で、目の前で再生しているような迫力を楽しめます。
- **DANCE**
  ダンスフロアの床面が正方形をしているディスコをシミュレートしています。音の響きが強いのが特徴です。反射音の遅延時間はほとんどが 50ms 以下で、迫力あるディスコサウンドが楽しめます。
- **THEATER 1**
  各チャンネルの定位感を損なわずに中型映画館の音響効果を再現します。映画館の雰囲気が楽しめます。
- **THEATER 2**
  各チャンネルの定位感を損なわずに映画館の音場を再現します。
- **SIMULATED STEREO (SIMUL. STEREO)**
  モノラル音声を、疑似ステレオ再生します。（センタースピーカーとサラウンドスピーカーからは音が出ません。）

DSP モードを切りかえる

DSP ボタンを押すごとに、以下のように切りかわります

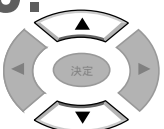
押すごとに、以下のように切りかわります。

DSP モードの効果レベルを調整する

1. サウンドボタンを押します

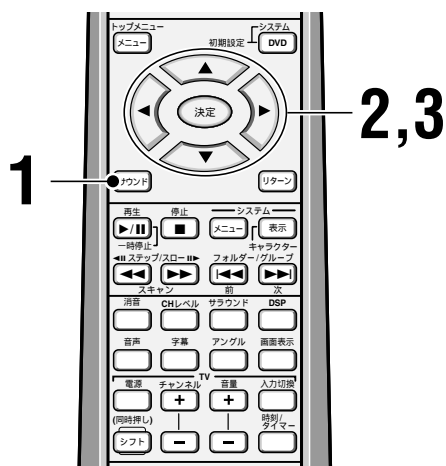
2. ◁/▷ ボタンを押して表示部に"EFFECT"を表示させます

3. △/▽ ボタンで効果レベルを調整します

現在設定されている DSP モードの効果を、10 から 90 までの範囲で調整することができます。

注 意

◆ 96kHz/24ビットのデジタル信号再生時は、DSP モードを操作することができません。（一時的に OFF になります。）

高音と低音を調整する

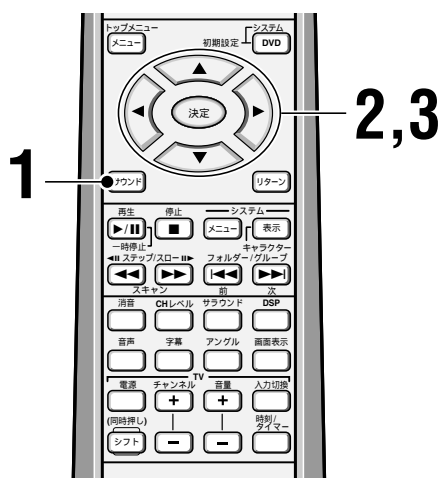
再生する曲の高音（TREBLE）と低音（BASS）の音質を、それぞれ調整することができます。
ただしサラウンドモードで、AUTO、STANDARD、SURROUND OFF を選択し、DSP モードで DSP OFF のときだけにしか、効果がありません。

1. **サウンドボタンを押します**

2. **◁/▷ ボタンを押して、"BASS" か "TREBLE" にします**

3. **△/▽ ボタンで音質のレベルを調整します**

調整範囲は、± 3 までです。

低音を強調して再生する

この機能を使うと、簡単な操作で低音だけを強調して再生させることができます。

1. **サウンドボタンを押します**

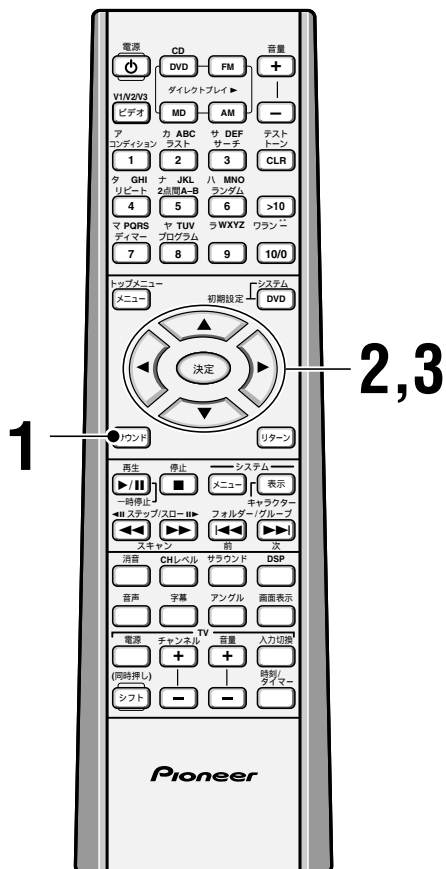
2. **◁/▷ ボタンを押して、"P.BASS" にします**

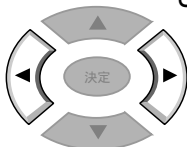
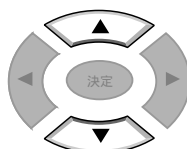
3. **△/▽ ボタンでオンかオフを選びます**

注 意

◆ ヘッドホンを挿入していると、この機能は効果がありません。

小さい音でサラウンドを楽しむには

音量を小さくすると、サラウンドが弱くなったり、微小な音が聴きにくくなることがあります。その場合は、ミッドナイトリスニングモードをONにしてください。音量を下げて映画などを楽しむ場合など、ミッドナイトリスニングモードを設定することで小さな音も聞き取りやすくなります。

1. サウンドボタンを押します

2. ◁/▷ ボタンを押して、"MIDNIGHT"にします

3. △/▽ ボタンでオンかオフを選びます

速さを変えて再生する

DVD/ VIDEO CD

画像をスローで見る（スロー再生）

ただし逆方向で再生ができるのは、DVD再生のときだけです。

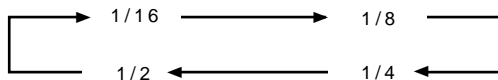
1. **スロー再生が始まるまで、シフトボタンを押しながら、ステップ/スロー(◄II II►)ボタンを押しつづけます**

(同時押し) シフト
◄II ステップ/スロー II► スキャン

スロー再生が始まります。
◄II ：逆方向（DVD再生時だけです）
II► ：前方向

2. **シフトボタンを押しながら、ステップ/スロー(◄II II►)ボタンを押して、スロー再生の速さを切りかえます**

(同時押し) シフト

前方向のときは、スロー再生中にステップ / スロー(◄II II►)ボタンを押すと、スロー再生の速さを4段階に切りかえることができます。

逆方向のときは、スロー再生中にステップ / スロー(◄II II►)ボタンを押すと、押すごとに**[スロー1]**⟷**[スロー 2]**が切り換わります。

スロー再生を止めるには

再生 ►/II 一時停止

再生 / 一時停止(►/II)ボタンを押します。

画像をコマ送りで見る（コマ送り再生）

ただし逆方向でコマ送りができるのは、DVD再生のときだけです。

静止画再生中(一時停止中)に、シフトボタンを押しながら、ステップ / スロー(◄II II►)ボタンを押します

(同時押し) シフト
◄II ステップ/スロー II► スキャン

1度押すと1コマ送ります。
◄II ：逆方向（DVD再生時だけです）
II► ：前方向

コマ送り再生を止めるには

再生 ►/II 一時停止

再生 / 一時停止(►/II)ボタンを押します。

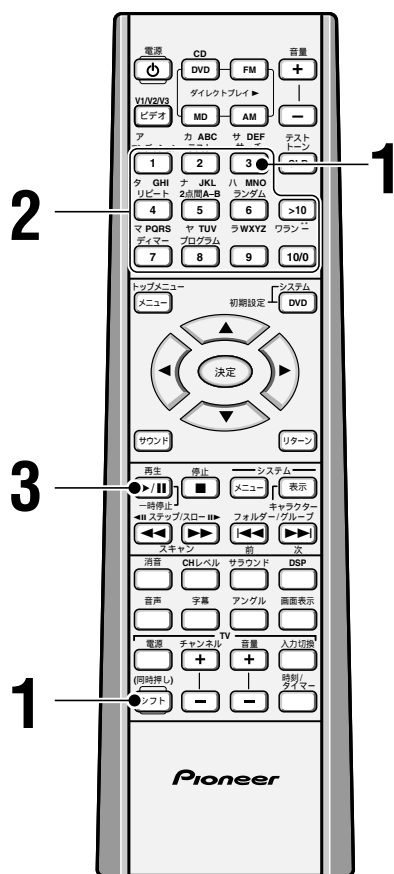
注意

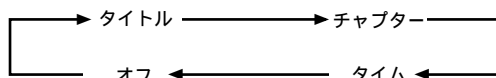
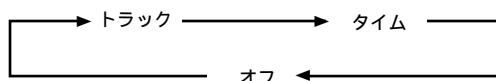
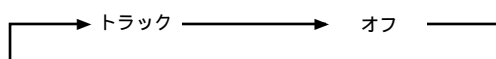
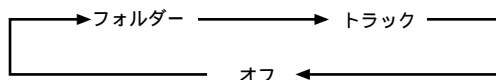
◆ 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
◆ 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください(52ページ参照)。
◆ ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は マークまたは マークが画面に表示されます。
◆ ビデオCDでは逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。

見たい / 聞きたい場所を探す　DVD/ CD/ VIDEO CD / MP3

DVD のタイトル / チャプター(場面)、ビデオ CD/CD のトラック(曲)、MP3 のフォルダー / トラック(曲)、さらに再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい / 聞きたい場所を探すことができます。

注 意

◆ ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、メニューボタンを押してメニューを表示させて選択してください(19 ページ参照)。
◆ ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は マークが画面に表示されます。
◆ CDおよびMP3では、タイムサーチはできません。
◆ タイムサーチでは、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
◆ DVD では、停止中にタイムサーチはできません。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時には、タイムサーチはできません。タイムサーチを行うにはPBC再生を止めてください(19 ページ参照)。

1. シフトボタンを押しながら、サーチボタン（3 ボタン）を押します

押すごとに、以下のようにサーチの種類が切りかわります。

2. 数字ボタンで、見たい/聞きたい場所を入力します

タイトル、チャプター / トラック(曲)番号で探すとき

番号と同じ数字のボタンを押します。

[例]

3 を選ぶには、**3 ボタン**を押します。
10 を選ぶには、**1 ボタン ➡ 0 ボタン**と押します。
37 を選ぶには、**3 ボタン ➡ 7 ボタン**と押します。

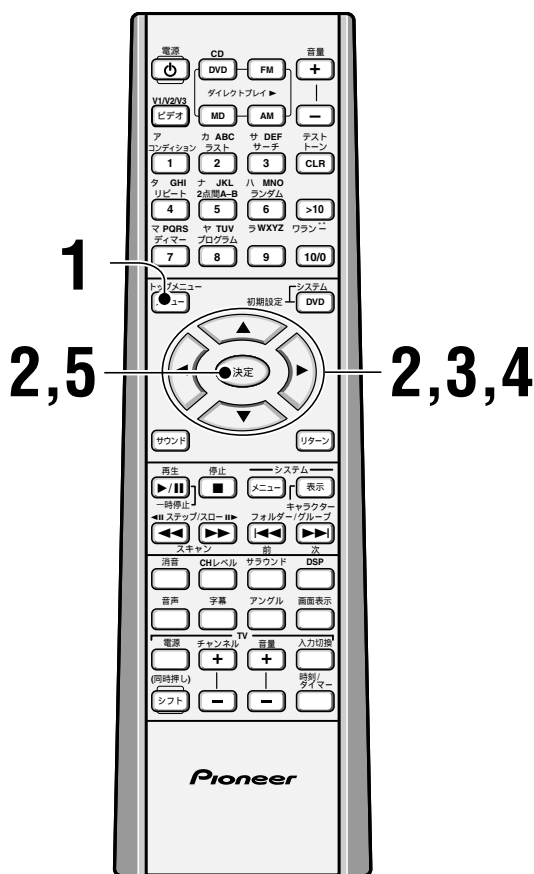
時間で探す(タイムサーチ）のとき

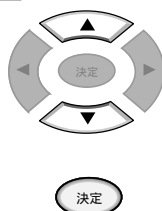
21 分 43 秒を選ぶには、**2**、**1**、**4**、**3** と押します。
1 時間 14 分(=74 分 00 秒)を選ぶには、**7**、**4**、**0**、**0** と押します。

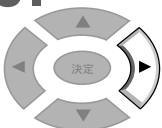
3. 再生 / 一時停止(▶/II)ボタンを押します

再生
▶/II
一時停止

指定したタイトル、チャプター、トラックを再生します。タイムサーチのときは、指定した時間から再生します。

MP3 ナビゲーターで聞きたいトラック(曲)を探すには

1. トップメニュー メニュー
メニューボタンを押します
MP3 ナビゲーター画面が表示されます。

2.
△/▽ ボタンで聞きたいトラック(曲)のあるフォルダーを選びます
△/▽ ボタンを押し続けると、前/次のフォルダーの選択画面に切りかわります。

選んだフォルダーごと再生したい場合は、決定ボタンを押します

3.
▷ ボタンを押して、選択項目をトラックの欄に移動します

4.
△/▽ ボタンで聞きたいトラック(曲)を選びます
△/▽ ボタンを押し続けると、前/次のトラックの選択画面に切りかわります。

5. 決定
決定ボタンを押 します
選んだトラックを再生します。
本機に対応していないフォルダー / トラックを選んだときは**「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」**と表示され、自動的にそのフォルダー / トラックを飛ばして再生を始めます。

メモ

選んだトラックをプログラムして再生したいとき

シフトボタンを押しながら、プログラムボタンを押します。

「プログラムマーク( )」が表示され、プログラム登録されます。
プログラム再生するにはメニューボタンを押してMP3 ナビゲーター画面を消してから、**『MP3 をプログラム再生するには』**(42 ページ)をご覧ください。

プログラムマーク

数字ボタン

1 2 3
4 5 6 >10
7 8 9 10/0

ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、数字ボタンを押すだけで見たい / 聞きたい場所を探すことができます。

DVD のとき

停止中に、数字ボタンでタイトルの番号を入力します

10 までは、同じ数字のボタンを押します。
11 以上は、**>10 ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。

[例]

3 を選ぶには、**3 ボタン**を押します。
10 を選ぶには、**10/0 ボタン**を押します。
37 を選ぶには、**>10 ボタン ➡ 3 ボタン ➡ 7 ボタン**と順に押します。

再生中に、数字ボタンでチャプターの番号を入力します

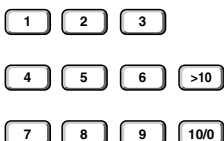
10 までは、同じ数字のボタンを押します。
11 以上は、**>10 ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。
100 以上は、**>10 ボタン**を 2 回押してから、数字のボタンを押します。

CD/VIDEO CD/MP3 のとき

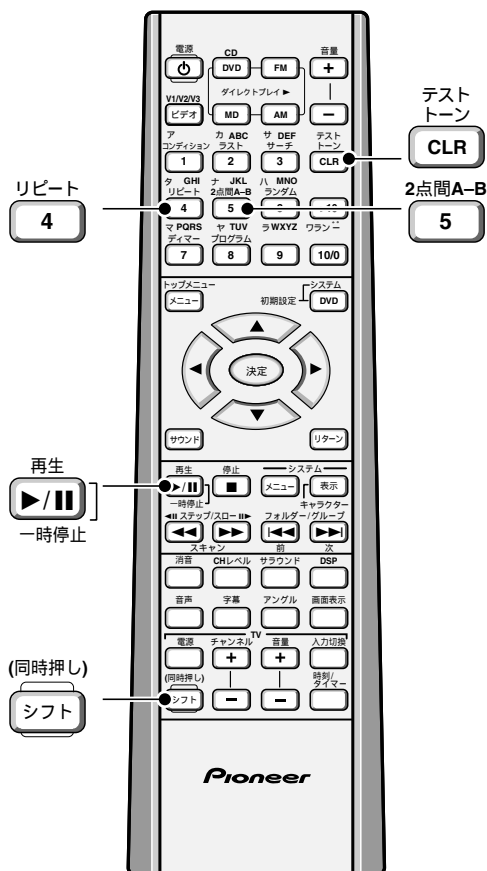
再生中に、数字ボタンでトラック番号を入力します

10 までは、同じ数字のボタンを押します。
11 以上は、**>10 ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。
100 以上は、**>10 ボタン**を 2 回押してから、数字のボタンを押します。

[例]

3 を選ぶには、**3 ボタン**を押します。
10 を選ぶには、**10/0 ボタン**を押します。
37 を選ぶには、**>10 ボタン ➡ 3 ボタン ➡ 7 ボタン**と順に押します。
156 を選ぶには、**>10 ボタン ➡ >10 ボタン ➡ 1 ボタン ➡ 5 ボタン ➡ 6 ボタン**と順に押します。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD/ CD/ VIDEO CD/ MP3

DVDのタイトル/チャプター(場面)、ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)を繰り返し再生します。

(同時押し) シフト　リピート 4

シフトボタンを押しながら、リピートボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

DVD

チャプターリピート → タイトルリピート → リピート解除 →（チャプターリピートへ戻る）

VIDEO CD/ CD

1曲リピート（再生中のトラック） → 全曲リピート（ディスクの全曲） → リピート解除 →（1曲リピートへ戻る）

MP3

トラックリピート → フォルダーリピート → 全曲リピート → リピート解除 →（トラックリピートへ戻る）

指定した範囲を繰り返し再生する

再生中にリピートA-Bボタンで指定した2点間を繰り返し再生します。MP3ではこの機能を使用することはできません。

(同時押し) シフト　2点間A–B 5

繰り返したい範囲の始めと終わりで、シフトボタンを押しながら2点間A-Bボタンを押します

指定した範囲を繰り返し再生します。

指定した箇所に戻って再生する

(同時押し) シフト　2点間A–B 5

あらかじめ再生中に、シフトボタンを押しながら2点間A-Bボタンを押して、戻る箇所を指定します

再生 ▶/II 一時停止

指定した箇所に戻りたいとき、再生/一時停止（▶/II）ボタンを押します

指定した箇所に戻ってから再生します。

リピート再生を止めるには

テスト トーン CLR

クリアボタンを押します

リピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。

メモ

▼ プログラム再生中(39ページ)にシフトボタン・リピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

注意

◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
◆ ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからシフトボタン・リピートボタンを押します(19ページ)。
◆ リピート再生中にアングルを切りかえる(44ページ)と、リピート再生は解除されます。

順不同に再生する（ランダム再生） DVD/ CD/ VIDEO CD/ MP3

DVDのタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

DVD のとき

(同時押し)
シフト
ランダム
6

チャプターをランダム再生するは、再生中にシフトボタンを押しながらランダムボタンを 1 回押します

タイトルをランダム再生するには、再生中にシフトボタンを押しながらランダムボタンを 2 回押します

決定ボタンか再生 / 一時停止(▶/II)ボタンを押します

再生しているタイトル内のチャプターかタイトルを順不同に再生します。

CD/VIDEO CD/MP3 のとき

ディスク内のトラック（曲）を、順不同に再生します。

(同時押し)
シフト
ランダム
6

ディスクの全曲をランダム再生するには、シフトボタンを押しながらランダムボタンを 1 回押します

ディスクの全曲を順不同に再生します。

ランダム再生を止めるには

クリアボタンを押します

現在再生されているチャプター / トラックからランダム再生は解除され、通常の再生に戻ります。

メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

注 意

◆ ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからシフトボタンとランダムボタンを押します。
◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返すことはできません。

好きな順番で再生する（プログラム再生） DVD/ CD/ VIDEO CD/ MP3

DVDのタイトル/チャプター(場面)、ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー/トラック(曲)を希望の順番に並べ換えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

注 意

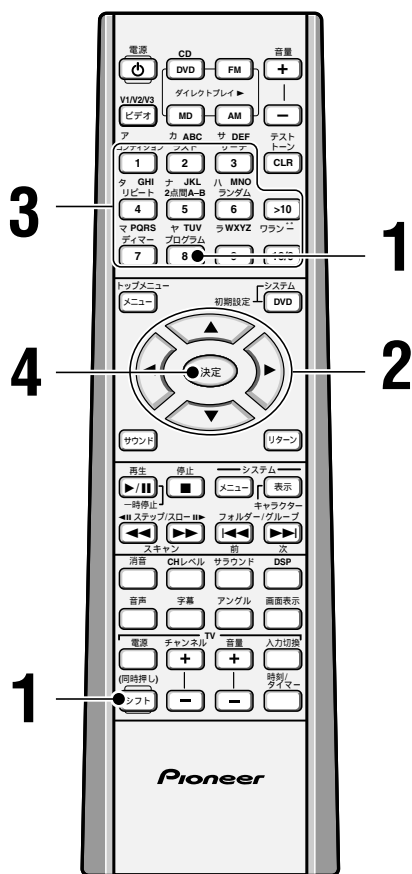
◆ DVDの場合、ディスクによってはプログラム再生をすることができないものがあります。このようなディスクのときは画面に マークが表示されます。

◆ ビデオCDのPBC再生中にプログラム再生することはできません。PBC再生を解除してください(19ページ)。

◆ チャプターをプログラムするときは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムすることができます。

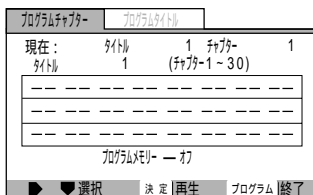
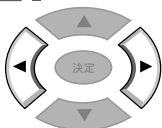
◆ チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。

DVD/CD/VIDEO CD のとき

1. シフトボタンを押しながら、プログラムボタンを押します

(同時押し) シフト

プログラム 8

プログラム画面が表示されます。

[例]DVDのプログラム画面

2. DVDのときは、◁/▷ボタンで[プログラムチャプター]か[プログラムタイトル]を選びます

ビデオCD、またはCDのときは手順3に進みます。
[プログラムチャプター]の画面でタイトル番号を変えたいときは、以下の手順で操作します。

1 プログラム入力画面の最上段で△ボタンを押します。

2 数字ボタンを押してタイトルを指定します。

▽ ボタンを押して、プログラム入力画面に移動します

3. プログラム再生したい順に、タイトル/チャプター、または曲(トラック)を数字ボタンで指定します

10までは、同じ数字のボタンを押します。
11以上は、**>10ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。
9、7、18の順にプログラムするには、**9 ➡ 7 ➡ >10 ➡ 1 ➡ 8** と数字ボタンを順番に押します。

4. 決定ボタンを押します

決定

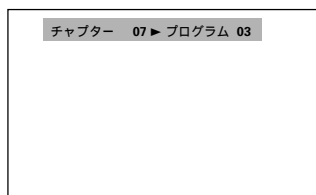
プログラムした順に再生が始まります。
プログラム再生しないでプログラム画面を終了するときは、**シフトボタン**を押しながら**プログラムボタン**を押します。

再生中のチャプター(場面) / トラック(曲) を確認しながらプログラムするには

1. (同時押し) シフト プログラム 8

プログラムしたいチャプターかトラックの再生中に、シフトボタンを押しながらプログラムボタンを 1 秒以上押します

以下の画面が表示されるまで押し続けてください。

チャプター　07 ► プログラム 03

さらにプログラムに追加したいときはこの操作を繰り返します。

2.

シフトボタンを押しながらプログラムボタンを押して、プログラム画面の内容を確認します

3. 決定

決定ボタンを押します

プログラムした順に再生が始まります。
プログラム再生しないでプログラム画面を終了するときは、**シフトボタン**を押しながら**プログラムボタン**を押します。

注 意

- ◆ すでに[プログラムタイトル]が入力されているときは、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- ◆ チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは が表示され、プログラムを入力することができません。
- ◆ すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- ◆ すべてのプログラム(24ステップ)が入力されているときは が表示され、プログラムを追加することはできません。

プログラムの内容を確認するには

(同時押し) シフト

シフトボタンを押しながらプログラムボタンを押します

DVDでは、◁/▷ ボタンで[プログラムチャプター]か[プログラムタイトル]を選びます。

プログラムを追加するには

1.

◁/▷/△/▽ ボタンで、プログラム入力画面の追加したい場所を指定します

2.

数字ボタンで、プログラムしたいタイトル、チャプター/トラックを入力します

通常の再生に戻すには

プログラム再生中に、クリアボタンを押します

プログラムの内容を 1 つずつ消去するには

1.

◁/▷/△/▽ ボタンで、プログラム入力画面で消去したい番号を指定します

2. テスト トーン CLR

クリアボタンを押します

指定された番号が消去され、後ろの番号が１つ前に移動します。

プログラムした内容をすべて消去するには

以下のいずれかの操作をします。

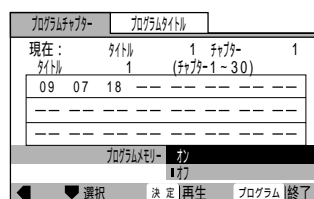
- ディスクを取り出す。
- 停止中にクリアボタンを押す。

DVD のプログラムを記憶するには（プログラムメモリー）

本機はディスクを取り出しても、最大 24 枚まで DVD ビデオのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが 24 枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1.

◁/▷/△/▽ ボタンで、プログラム画面の[プログラムメモリー]の[オン]を選びます

2. 決定

決定ボタンを押します

記憶したプログラムを消去するには

手順１で、[プログラムメモリー]の[オフ]を選びます。
プログラム入力画面には数字は残ったままですが、ディスクを取り出すと、プログラムした内容は全て消去されます。

メモ

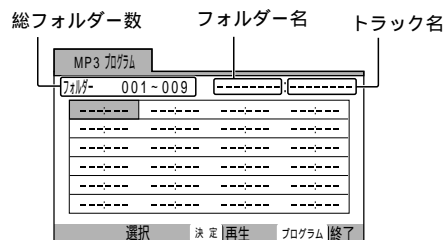
エフディスクについて

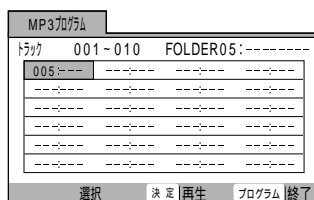
この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大 24 個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大 24 枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

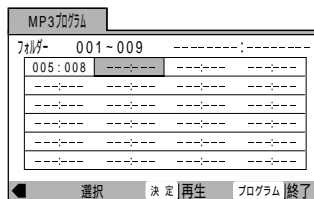
MP3をプログラム再生するには

1. シフトボタンを押しながら、プログラムボタンを押します

(同時押し) シフト
プログラム 8

プログラム画面が表示されます。

2. 数字ボタンで、プログラム再生したいフォルダー番号を指定します

10 までは、同じ数字のボタンを押します。
11 以上は、**>10 ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。
100 以上は、**>10 ボタン**を 2 回押してから、数字のボタンを押します。

3. 数字ボタンで、プログラム再生したいトラック番号を指定します

10 までは、同じ数字のボタンを押します。
11 以上は、**>10 ボタン**を押してから、数字のボタンを押します。
100 以上は、**>10 ボタン**を 2 回押してから、数字のボタンを押します。

4. さらにプログラムするには、手順2と3の操作を繰り返します

5. 決定ボタンを押します

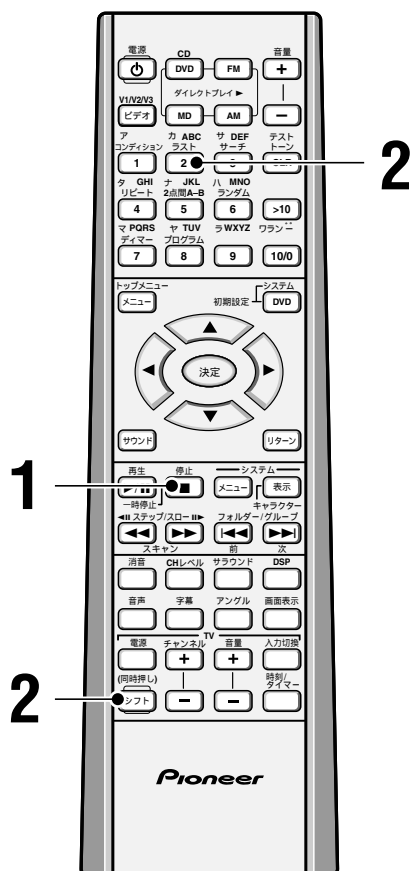
決定

プログラムした順に再生が始まります。
プログラム再生しないでプログラム画面を終了するときは、**シフトボタン**を押しながら**プログラムボタン**を押します。

メ モ

▼ MP3ナビゲーターでもトラックをプログラムすることができます(35 ページ参照)。
▼ フォルダー名、またはトラック名が半角英数字以外でつけられているときは、「F_001」、「T_001」のように番号で表示されます。半角英数字以外を表示することはできません。

前に見たディスクのつづきを再生する　DVD/VIDEO CD

この機能を使うと、つづきから見る場所とそのときの設定内容を、DVDのディスク5枚まで記憶させておくことができます。リジューム機能(20ページ)と違い、一度記憶するとディスクを取り出しても記憶は消去されません。

つづきから見る場所を記憶する

(同時押し)
シフト
ラスト
2

再生中にシフトボタンを押しながら、ラストボタンを押します

画面に"ラストメモリー"と表示され、場所が記憶されました。ディスクを取り出したり電源をオフにしても、この場所から再生を開始することができます。

記憶させたつづきから見る

1. つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れます

停止
■

DVDの中には、ディスクを入れると自動的に再生をはじめるものがあります。この場合、停止(■)ボタンを押して再生を止めてください。

2. 停止中にシフトボタンを押しながら、ラストボタンを押します

(同時押し)
シフト
ラスト
2

記憶させたつづきから、再生を開始します。

記憶したつづきを消去するには

(同時押し)
シフト
ラスト
2
テスト
トーン
CLR

シフトボタンを押しながらラストボタンを押して、画面に"ラストメモリー"と表示されている間にクリアボタンを押します

表示窓の"LAST"インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

注 意

◆ DVDの場合、ディスクによってはつづきから見る場所を記憶できないことがあります。
◆ DVDでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
◆ ビデオCDでは、1枚のみ記憶することができますが、ディスクを取り出すと記憶が消去されます。
◆ ビデオCDでは、PBC再生をしたときは、つづきから見る場所を記憶できない箇所があります。つづきから見る場所を記憶できないときは、メニューを出さずに再生してください(19ページ)。

映像のアングルを切りかえる（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切りかえることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには🎥マークが付いています。

注 意

◆ 🎥マークを表示させたくないときは、DVD初期設定画面で[エキスパート]に設定してから、[アングルインジケーター]を[オフ]にします(53ページ参照)。

1. アングル

再生中に🎥マークが表示されたら、アングルボタンを押します

複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。

2. アングル

さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選びます

押すごとに、アングルが切りかわります。
一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。

再生中に字幕を切りかえる DVD

複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を切りかえる ことができます。

注 意

◆ ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。リジューム機能(20ページ)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、DVD初期設定画面の[字幕言語](11ページ)で選択した字幕言語に戻ります。
◆ ディスクによっては切りかえられない場合があります。また、ディスクのメニューで行える場合もあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します。

字幕

DVDの再生中に字幕ボタンを押します

現在選択している字幕が表示されます。

字幕

さらに字幕ボタンを押します

押すごとに字幕表示が切りかわります。

字幕を消すには

字幕ボタンを押したあとに、クリアボタンを押します

再生中に音声を切りかえる DVD

複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは、再生する音声を切りかえることができます。

注 意

◆ ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。リジューム機能(20ページ)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、DVD初期設定画面の[字幕言語](11ページ)で選択した音声言語に戻ります。
◆ ディスクによっては切りかえられない場合があります。また、ディスクのメニューで行える場合もあります。その場合には、メニューボタンを押してメニュー画面を表示させてから設定します。

1. 音声

DVDを再生中に音声ボタンを押します

現在選択している音声が表示されます。

2. 音声

さらに音声ボタンを押します

押すごとに音声が切りかわります。
ディスクによっては音声を切りかえたときに一瞬静止画になるときがあります。

応用編

DVDやVCD、CDを使う

よく見るDVDの設定を記憶させる DVD

コンディションメモリー機能を使うと、よく見るDVDの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。一度記憶すると電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。

注 意

◆ ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切りかわるものがあります。

(同時押し) シフト
コンディション 1

ディスクが入った状態で、シフトボタンを押しながら、コンディションメモリーボタンを押します

画面に"コンディションメモリー"と表示され、以下の5つの設定が記憶されます。
・視聴制限（P.59） ・マルチアングル（P.53）
・画面表示（P.55） ・音声言語（P.55）
・字幕言語（P.55）
記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶(最初に記憶したもの)から消去されます。

記憶してあるディスクを入れると

画面に"コンディションメモリー"と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には"COND."インジケーターが点灯します。
また一度記憶された設定は、何度再生しても記憶されたままです。

コンディションメモリーを消去するには

(同時押し) シフト
コンディション 1
テスト トーン CLR

シフトボタンを押しながらコンディションメモリーボタンを押して、画面に"コンディションメモリー"と表示されている間にクリアボタンを押します

表示窓の"COND."インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

ディスクの情報を見る

DVD/ CD/ VIDEO CD / MP3

DVDのタイトル/チャプター情報、ビデオCD/CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー / トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類(DVD、DVD-RW、ビデオCD、CD、およびMP3)によって異なります。

再生中にディスクの情報を見る

画面表示

再生中に、DVD画面表示ボタンを押します

押すごとに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。また、表示画面が消えているときにDVD画面表示ボタンを押し続けると、押している間、ディスクの残り時間を表示します。

DVD の情報を見る

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

タイトルの残り時間　タイトルの総時間

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

チャプターの経過時間　チャプターの総時間

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

チャプターの残り時間　チャプターの総時間

現在のタイトル番号－チャプター番号　現在のタイトル経過時間

転送レート*1 のレベルメーター　転送レートのレベル

表示が消えます。

メ モ

*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

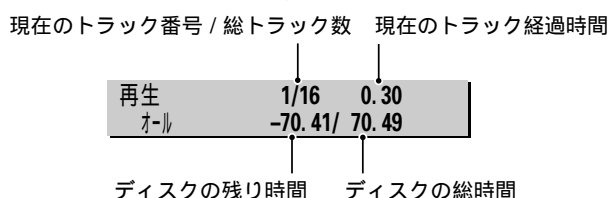
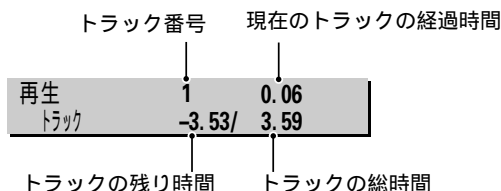
注 意

◆ タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。
◆ ビデオCDのPBC再生中、またはファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

CD の情報を見る

ファイナライズしていない CD-R を再生中は、表示されないディスク情報があります。

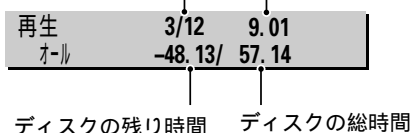
現在のトラック番号 / 総トラック数　現在のトラック経過時間

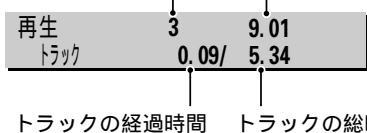
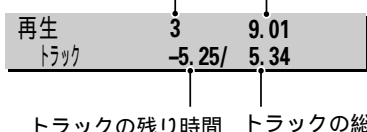
ディスクの残り時間　ディスクの総時間

表示が消えます。

VIDEO CD の情報を見る

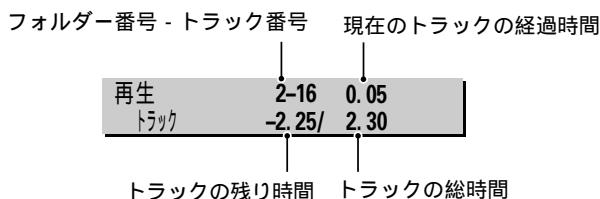
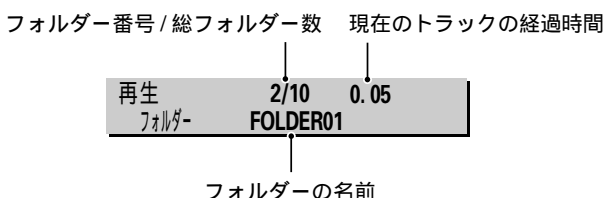
ビデオ CD の PBC 再生中は、表示されないディスク情報があります。

現在のトラック番号/総トラック数　ディスクの経過時間

ディスクの残り時間　ディスクの総時間

現在のトラック番号　ディスクの総経過時間

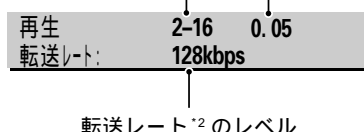
トラックの経過時間　トラックの総時間

トラックの残り時間　トラックの総時間

表示が消えます。

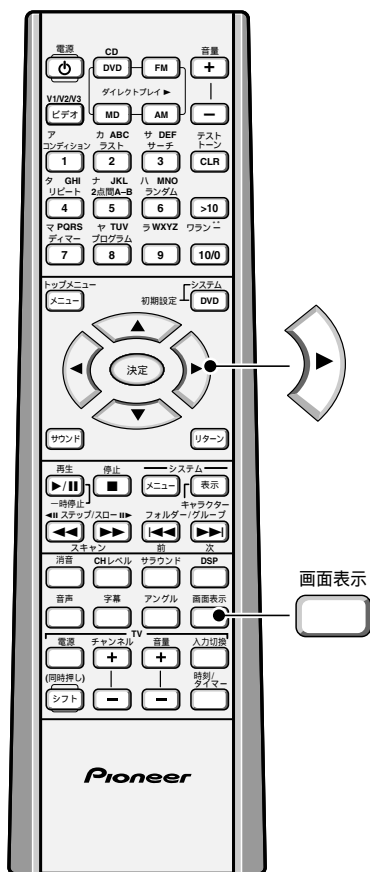
MP3 の情報を見る

フォルダー番号 / 総フォルダー数　現在のトラックの経過時間

フォルダー番号－トラック番号　現在のトラックの経過時間

再生 2-16 0.05
トラック -2.25/ 2.30

トラックの残り時間　トラックの総時間

転送レート*2 のレベル

表示が消えます。

*2 転送レートとは、MP3 情報量を示す値です。

停止中にディスクの情報を見る

画面表示

停止中に、DVD画面表示ボタンを押します

ディスク情報の画面が表示されます。
ディスクの情報が 2 ページ以上あるときは、▷ボタンを操作すると次の画面が表示されます。

ディスク情報を消すには

画面表示

画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

DVD の情報を見る

タイトル番号、およびそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

インフォメーション: DVD

タイトル	チャプター	タイトル	チャプター
01	1~30	06	1~10
02	1~21	07	1~13
03	1~46	08	1~ 5
04	1~12	09	1~ 4
05	1~ 8	10	1~ 3

1/2　画面表示 終了

情報が2ページあり、現在の画面がその1ページ目であることを表します。

VIDEO CD/ CD の情報を見る

トラック番号、およびそれぞれのトラックの総時間が表示されます。

インフォメーション：コンパクトディスク

トータルタイム　70.49

トラック	タイム	トラック	タイム
01	3.59	06	4.20
02	5.04	07	5.05
03	4.53	08	4.02
04	4.11	09	4.07
05	3.56	10	3.45

1/2　画面表示 終了

MP3 の情報を見る

フォルダー番号、およびそれぞれのフォルダー内のトラック数が表示されます。

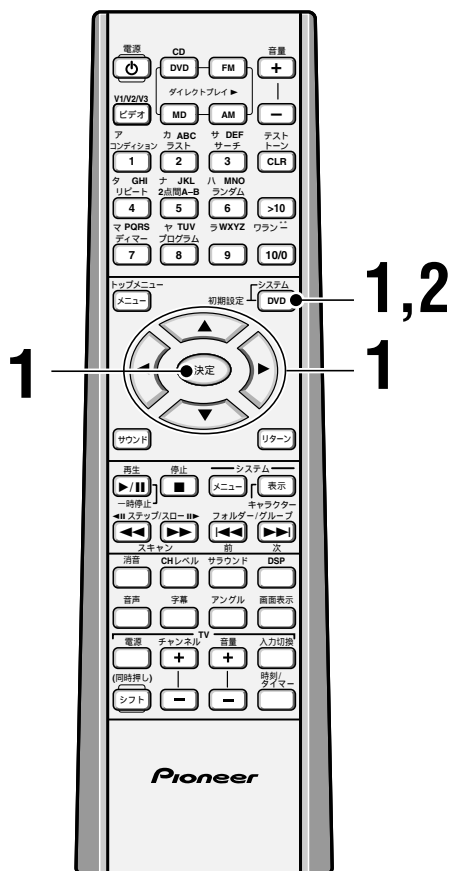
Information: MP3

Folder	Track	Folder	Track
001	1 ~ 9	001	1 ~ 10
002	1 ~ 11	002	1 ~ 13
003	1 ~ 3	003	1 ~ 5
004	1 ~ 22	004	1 ~ 4
005	1 ~ 15	005	1 ~ 8

1/2　DISPLAY Exit

MP3

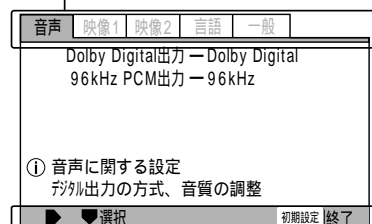
DVD 初期設定画面の操作のしかた

セットアップナビゲーター (10ページ)よりも多くの設定をすることができます。工場出荷時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。セットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。セットアップナビゲーターの画面が表示されたときは10～11ページをご覧ください。

1. DVD 初期設定ボタンを押します

システム
初期設定 DVD

DVD 初期設定画面が表示されます。

[例]

◁/▷ ボタンで、[映像]、[言語]、[一般]を選択します

その画面で操作できるボタンを表しています

① △/▽ ボタンで設定したい項目を選びます。
② ▷ボタンで選択肢の欄にカーソルを移動させます。
③ △/▽ボタンで設定したい選択肢にカーソルを合わせます。
④ 決定ボタンを押して、設定を決定します。

2. すべての設定が終了したら、DVD 初期設定ボタンを押します

システム
初期設定 DVD

初期設定画面が消えます。

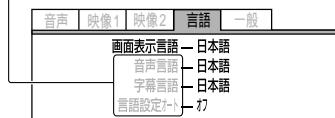
メ モ

▼ 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

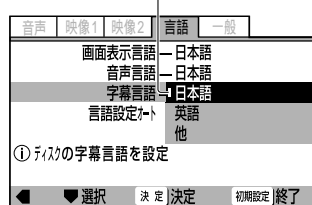
注 意

◆ 初期設定を操作すると、リジューム機能(P.20)が解除される場合があります。

再生中に変更できない項目

灰色

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

ディスクに種類によって変更できる / できない設定

インジケーター

ディスクの種類(DVD/ ビデオCD/CD/MP3)によって、変更できる設定が異なります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。

青色 .... DVDだけ
黄色 ...... DVD/ ビデオ CD だけ
緑色 ... ディスクの種類関係なし

また、DVD 以外のディスク(ビデオ CD/CD/MP3)が入っているとき、DVDにのみ設定できる項目を選ぶと、画面の右上に青い DVD マークが表示されます。

DVD 初期設定画面の項目別さくいん

DVD 初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

音声 | 映像1 | 映像2 | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
Dolby Digital出力	▌Dolby Digital	P.51
	Dolby Digital▶PCM	
96kHz PCM出力	96kHz▶48kHz	P.51
	▌96kHz	

音声 | **映像1** | 映像2 | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
テレビ画面	4:3(レターボックス)	P.51
	4:3(パンスキャン)	
	▌16:9(ワイド)	
S映像出力	S1	P.52
	▌S2	
スクリーンセーバー	▌オン	P.52
	オフ	

音声 | 映像1 | **映像2** | 言語 | 一般

項目	選択肢	ページ
背景	▌パイオニアロゴ	
	黒	P.52
画質調整	開始	P.53
ポーズモード	フィールド	P.52
	フレーム	
	▌オート	
画面表示	位置：ワイド	P.53
	▌位置：ノーマル	
	オフ	
アングルインジケーター	▌オン	P.53
	オフ	

音声 | 映像1 | 映像2 | **言語** | 一般

項目	選択肢	ページ
画面表示言語	▌日本語	P.55
	English	
音声言語	▌日本語	P.55
	英語	
	他	
字幕言語	▌日本語	P.55
	英語	
	他	
言語設定オート	▌オン	P.55
	オフ	
DVD言語	▌字幕言語に連動	P.56
	日本語	
	英語	
	他	
字幕表示	▌オン	P.56
	オフ	
	アシスト字幕	
字幕オフ時	音声連動	P.56
	▌選択字幕	

メ モ

▼ ▌は出荷時の設定を表わします。
▼ （網かけ）の設定は初期設定モードが[エキスパート]のときに表示される項目です。

より細かな設定をする

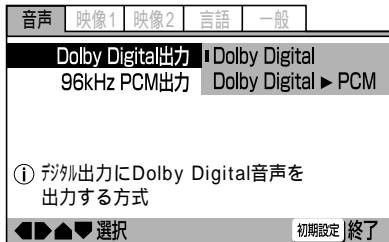
初期設定画面には[ベーシック]と[エキスパート]の 2 種類があります。[初期設定モード]を[エキスパート]に設定すると、より細かな設定をすることができます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目に[エキスパート]がついています。

エキスパート：
より細かな設定を表示します

ベーシック　：
基本的な設定を表示します。選択している項目の簡単な説明(ⓘ)が表示されます(出荷時の設定)。

[音声]の設定をする

ドルビーデジタル出力

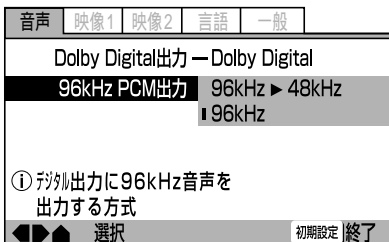
本機のデジタル出力を、MD レコーダーや CD レコーダーなどのデジタル入力を持つ外部機器に接続したときに使用します。

Dolby Digital：

Dolby Digital信号をDolby Digital信号のまま出力します。したがって、MD レコーダーやCD レコーダーなどでは録音することはできません（出荷時の設定)。

Dolby Digital►PCM：

ドルビーデジタルに対応のディスクを、MD レコーダーやCD レコーダーなどで録音するときに設定します。この場合は、Dolby Digital 信号はリニア PCM 信号に変換して出力されます。

96kHz PCM 出力

本機のデジタル出力を、MD レコーダーや CD レコーダーなどのデジタル入力を持つ外部機器に接続したときに使用します。

96kHz►48kHz：

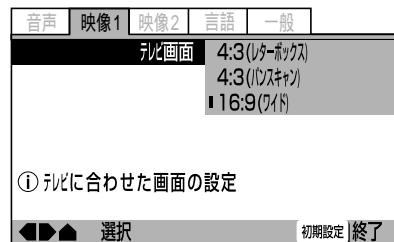
MDレコーダーやCDレコーダーなどで録音するときに設定します。96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。

96kHz：

96kHz のまま PCM 出力されます。MD レコーダーや CD レコーダーなどでは録音することはできません(出荷時の設定)。

[映像 1]の設定をする

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。
DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横 16：縦 9 で記録されています。従って、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横 4：縦 3 となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。

4:3(レターボックス)：

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(12ページ参照)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)：

従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(12ページ参照)で見たいときに選択します。

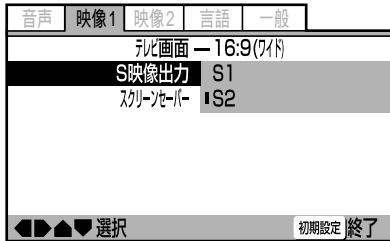
16:9(ワイド)：

ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します(出荷時の設定)。

注 意

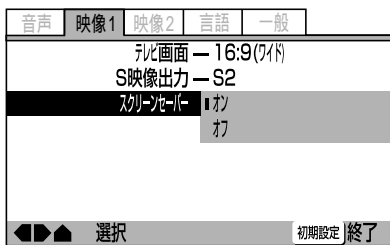
◆ アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

S 映像出力を切り換える エキスパート

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは、［S1］を選択してください。

S2:
S2 映像信号が出力されます。（出荷時の設定）

S1:
S1 映像信号が出力されます。

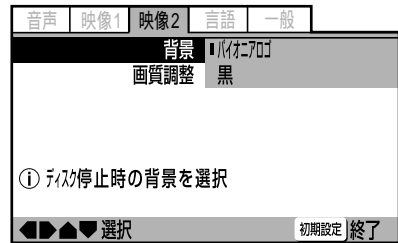
スクリーンセーバーを設定する エキスパート

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます(出荷時の設定)。

オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません。

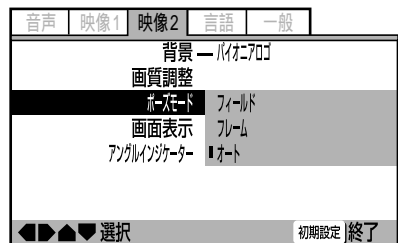
[映像 2]の設定をする

背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

パイオニアロゴ：
パイオニアロゴを背景に表示します(出荷時の設定)。

黒：
黒色の背景色を表示します。

静止画像を切りかえる エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし､画像を鮮明に見ることができます。

フィールド:
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

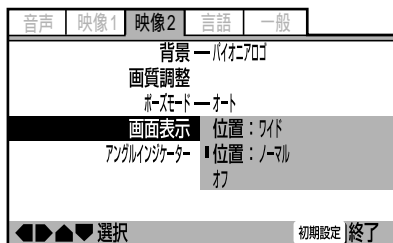
フレーム:
通常モードです。

オート:
フィールドとフレームを自動的に切り換えます(出荷時の設定)。

注 意

◆ ディスクによっては[フィールド]を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

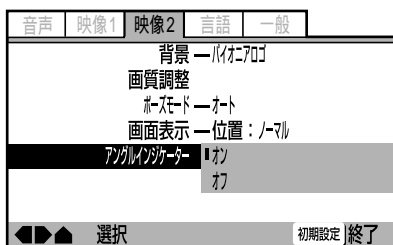
画面表示の位置を選択する エキスパート

本機が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVD ディスクの画面比率が 4:3 のときに設定します（詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください）。また、プレイ、ストップなど、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

位置:ワイド：
ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき､画面表示が欠けるのを避けます。

位置:ノーマル：
ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します (出荷時の設定)。

オフ：
画面表示をしません。

アングルマークをオン / オフする エキスパート

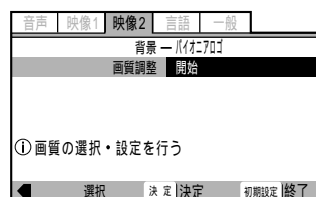
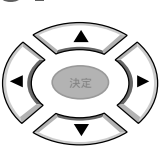
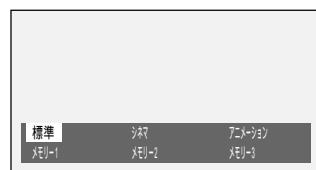
再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面にマークを表示します(出荷時の設定)。

オフ：
画面にマークを表示しません。

画質を調整する DVD/ VIDEO CD

映像（映画、アニメなど）に合わせた画質を選ぶことができます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。初期設定画面の操作のしかたについては 49 ページをご覧ください。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1. **◁/▷/△/▽ボタンで､[映像 2]➡[画質調整]➡[開始]と選び、決定ボタンを押します**

2. **△/▽ ボタンで､[ビデオメモリー選択]を選び、決定ボタンを押します**

3. **◁/▷/△/▽ ボタンで、好みの画質を選びます**

標準：
ディスクに記録されているそのままの画質です。

シネマ：
部屋を暗くして､映画館のような雰囲気で観賞するときに適した画質です。

アニメーション：
色をくっきりと表現するアニメソフトに適した画質です。

メモリー 1/ メモリー 2/ メモリー 3：
好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの『*好みの画質に調整する*』をご覧ください。

4. 決定ボタンを押します

画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

好みの画質に調整する

1. ◁/▷/△/▽ ボタンで、[映像 2]➡[画質調整]➡[開始]と選び、決定ボタンを押します

2. △/▽ボタンで、[ビデオ設定]を選び、決定ボタンを押します

3. △/▽ ボタンで、調整する項目を選びます

画面表示ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。

もう一度押すと上の画面に戻ります。

ファインフォーカス：
[**オン**]に設定するとくっきりした高解像度の映像になります。

コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。[**ファインフォーカス**]を[**オフ**]に設定しているときには効果がありません。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します。

4. △/▽ ボタンで、各項目のレベルを調整します

[**ファインフォーカス**]の設定では[**オン**]、または[**オフ**]を選びます。

5. 手順 3 ～ 4 を繰り返して、すべての項目を調整します

設定した内容を記憶させたいときは △/▽ ボタンで[メモリー]を選び、◁/▷ ボタンで[**1**]、[**2**]、[**3**]のいずれかを選んで記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6. 決定ボタンを押します

画質調整画面が消えます。なお、決定ボタンを押さないと、調整した内容を[**メモリー**]に記憶することができません。

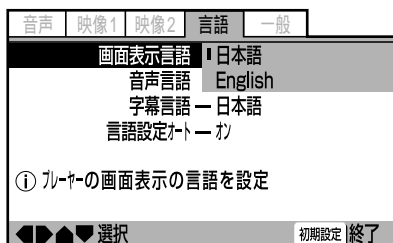
注 意

◆ ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

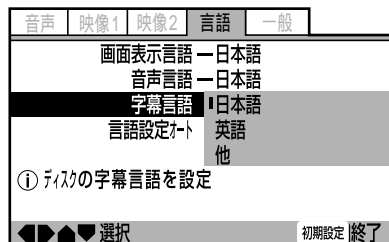
[言語]の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の[言語]にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

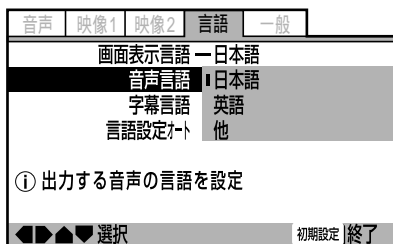
画面表示言語を設定する

初期設定画面などを表示する言語を、英語に切りかえます。

日本語：
画面表示の言語が日本語になります(出荷時の設定)。
English：
画面表示の言語が英語になります。

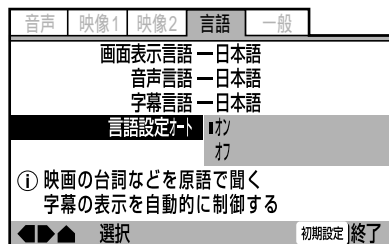
字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語：
日本語の字幕を表示します(出荷時の設定)。
英語：
英語の字幕を表示します。
他：
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは57ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

音声言語を設定する

音声言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語：
音声言語が日本語になります(出荷時の設定)。
英語：
音声言語が英語になります。
他：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは57ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン：
[音声言語]と[字幕言語]が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります(出荷時の設定)。
オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、[音声言語]と[字幕言語]で設定している音声と字幕になります。

DVD のメニュー言語を設定する エキスパート

DVD の中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

字幕言語に連動：
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます(出荷時の設定)。

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

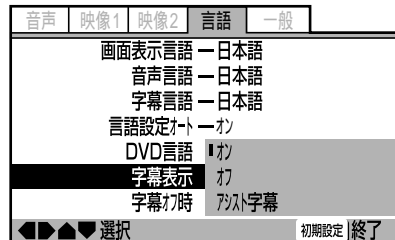
英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

他：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは57ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

注 意

◆ DVDに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

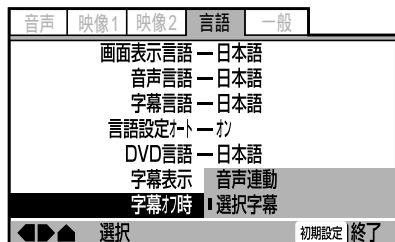
字幕表示をオン / オフする エキスパート

字幕を表示するかしないか、またはアシスト字幕を表示するかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン　：
字幕を表示します(出荷時の設定)。

オフ　：
字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります(下の段落)。

アシスト字幕：
アシスト字幕は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、字幕表示を[オフ]にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。

選択字幕：
初期設定画面の[字幕言語]で選択されている言語で字幕を表示します(出荷時の設定)。

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

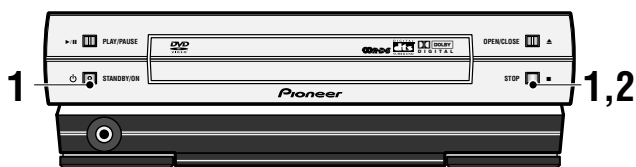
1. ⏻ スタンバイ/オンボタンを押して電源をオフにします

⏻ STANDBY/ON

2. 本体の 停止（■）ボタンを押しながら、⏻ スタンバイ/オンボタンを押します

STOP ■

⏻ STANDBY/ON

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

注 意

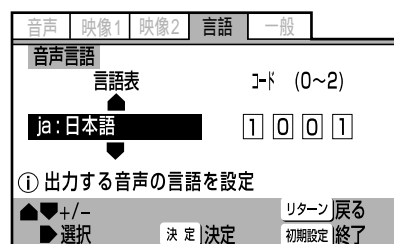
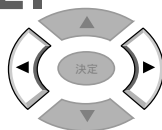
◆ この操作を行うと、ラストメモリー(43ページ)、コンディションメモリー(45ページ)やプログラムメモリー(41ページ)など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

字幕言語／音声言語／ DVD 言語の設定で［他］を選んだとき

次ページの言語コード表を見ながら操作します。

1. ［他］を選び、決定ボタンを押します

決定

言語選択画面が表示されます。
例）音声言語の場合

2. ◁/▷ ボタンを押して、[言語表]または[コード]を選びます

[コード]で言語を選ぶ場合

例えば、「フランス語」を選ぶ場合は、リモコンの数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。
1ケタごとに▽/△ボタンを押して数字を選択することもできます。◁/▷ボタンを押してケタを移動します。
コードの(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

[言語表]で言語を選ぶ場合

例えば、「フランス語」を選ぶ場合は、△ボタンを 2 回押します。
言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは次ページの言語コード表をご覧ください。

3. 決定ボタンを押して、決定します。

決定

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

言語名（言語コード）	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名（言語コード）	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

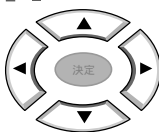
注 意

◆ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

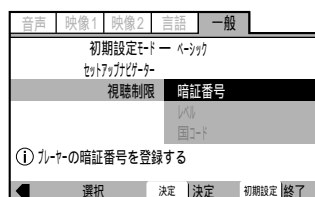
◆ 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(57ページ参照)、再度設定してください。

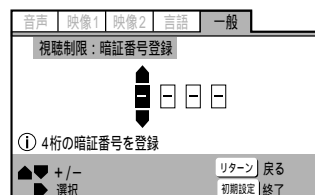
◆ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

視聴制限をする（パレンタルロック） DVD

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。初期設定画面の操作のしかたについては 49 ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

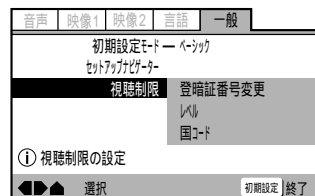
1. **◁/▷/△/▽ ボタンで、[一般]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選びます**

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと**[レベル]**、および**[国コード]**を選択することはできません。

2. **決定ボタンを押します**

[暗証番号登録]の画面が表示されます。

3. **暗証番号を 4 桁で入力します**

数字ボタンか、▽/△ボタンで 1 ケタごとに数字を選んで、◁/▷ ボタンでケタを移動して入力します。

4. **決定ボタンを押します**

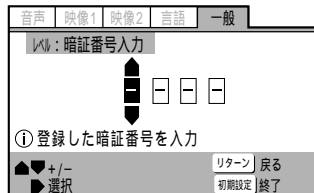
以下の初期設定画面が表示されます。

暗証番号変更：
暗証番号を変更します。

レベル：
視聴制限のレベルを変更します。

国コード：
国コードを変更します。

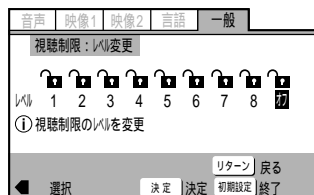
レベルを変更する

1. **◁/▷/△/▽ボタンで [レベル] を選び、決定ボタンを押します**

[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2. **すでに登録している暗証番号を4桁で入力します**

数字ボタンか、▽/△ボタンで1ケタごとに数字を選んで、◁/▷ボタンでケタを移動して入力します。

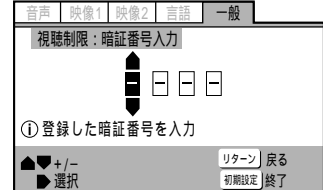
3. **決定ボタンを押します**

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。出荷時は**[オフ]**に設定されています。

4. **◁/▷ ボタンで、レベルを選んでから決定ボタンを押します**

視聴制限のレベルが設定されます。

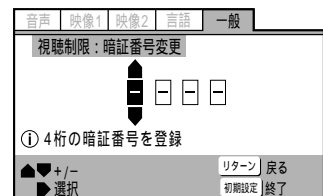
暗証番号を変更するには

1. **[暗証番号変更] を選び、決定ボタンを押します**

暗証番号入力の画面が表示されます。

2. **すでに登録している暗証番号を4桁で入力します**

数字ボタンか、▽/△ ボタンで 1 ケタごとに数字を選んで、◁/▷ ボタンでケタを移動して入力します。

3. **決定ボタンを押します**

暗証番号変更の画面が表示されます。

4. **新しい暗証番号を4桁で入力します**

数字ボタンか、▽/△ ボタンで 1 ケタごとに数字を選んで、◁/▷ ボタンでケタを移動して入力します。

5. **決定ボタンを押します**

暗証番号が変更されます。

視聴制限できる DVD を再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1. **数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力します**

2. **決定ボタンを押します**

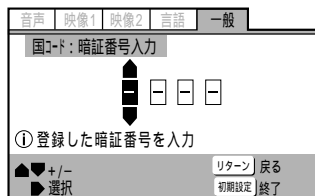
国コードを変更する

右の国コード表を見ながら操作します。

1.

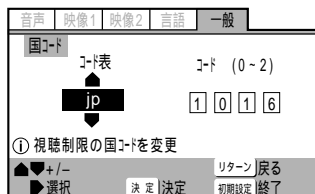
◁/▷/△/▽ボタンで［国コード］を選び、決定ボタンを押します

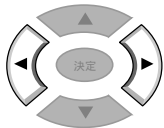
[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2.

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3.

決定ボタンを押します

国コード設定画面が表示されます。

4.

◁ / ▷ ボタンで、[コード表]か[コード]を選びます

コードの(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

[コード]で国コードを選ぶとき

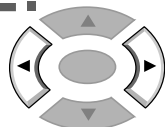
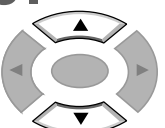
以下のいずれかの操作をします。
[例] 日本を選ぶ場合

- 数字ボタンの **1**、**0**、**1**、**6** を押します。
- 1 ケタごとに △/▽ ボタンを押して数字を選択してから、◁/▷ ボタンを押してケタを移動させます。

5.

[コード表]で国コードを選ぶとき

[例] 日本を選ぶ場合
▽ ボタンで、[jp]を選びます。

国コード表

国名	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

ダイナミックレンジコントロールの設定

ダイナミックレンジコントロールは、ドルビーデジタル信号を再生しているときだけ効果があります。ダイナミックレンジとは、再生能力を示す言葉で、どのくらい小さな音からどのくらい大きな音までをきちんと（小さな音はノイズに埋もれずに、大きな音は歪まずに）再生できるかを数字（dB）で表わしたものです。ダイナミックレンジコントロールとは、このダイナッミックレンジを圧縮するという機能です。音量を下げて映画を観ているときでも、ダイナミックレンジコントロールを設定すると微小な音も聞きやすくなり、映画をより一層楽しむことができます。

1. (同時押し) シフト　初期設定 システム DVD

シフトボタンを押しながら、システム初期設定ボタンを押します

2.

◁/▷ ボタンを押して、すでに設定されている手順 3 のいずれかの内容を表示させます

3. 決定

▽ / △ ボタンを押して、ダイナミックレンジコントロールを設定します

```
D.R.C. OFF
```

初期設定は OFF です。

```
D.R.C. LOW
```

低圧縮率のダイナミックレンジ

```
D.R.C. MEDIUM
```

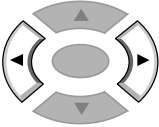
中圧縮率のダイナミックレンジ

```
D.R.C. HIGH
```

高圧縮率のダイナミックレンジ

4. 決定

決定ボタンを押して設定を終了します

注 意

◆ ダイナミックレンジコントロールの設定は、ミッドナイトモード（32 ページ参照）がオンのときは変更できません。

デュアルモノの設定

デジタル入力がドルビーデジタル信号で音声チャンネルが2つある時（1+1 デュアルモノラルモード）、どちらのチャンネルをどこのスピーカーから再生させるかを設定することができます。デュアルモノの設定は、ドルビーデジタル信号が 1+1 デュアルモノラルモードで記録されているソースにのみ有効です。

1. (同時押し) シフト　初期設定 システム DVD

シフトボタンを押しながら、システム初期設定ボタンを押します

2.

◁/▷ ボタンを押して、すでに設定されている手順 3 のいずれかの内容を表示させます

3.

▽ △ ボタンを押して、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します

```
L-Ch1   R-Ch2
```

デュアルモノのチャンネル 1 の音声をフロント左スピーカーより、デュアルモノのチャンネル 2 の音声をフロント右スピーカーより再生します。（初期設定）

```
Ch1
```

デュアルモノのチャンネル 1 の音声のみを左右フロントスピーカーより再生します。サラウンドモードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。チャンネル 2 は再生されません。

```
Ch2
```

デュアルモノのチャンネル 2 の音声のみを左右フロントスピーカーより再生します。サラウンドモードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。チャンネル 1 は再生されません。

```
MIX
```

デュアルモノのチャンネル 1 と 2 をミックスした音声を左右フロントスピーカーより再生します。サラウンドモードが ON の場合はセンタースピーカーより再生します。

4. 決定

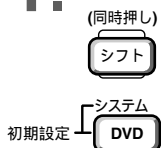
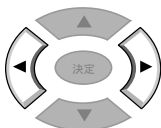
決定ボタンを押して、設定を終了します

LFE アッテネータの設定

ドルビーデジタルや DTS の信号は超低域信号成分を多く含んでいます。この超低域成分（LFE チャンネル）により、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまった場合に、レベルをアッテネートする（減衰させる）設定を行います。

1.

シフトボタンを押しながら、システム初期設定ボタンを押します

2.

◁/▷ ボタンを押して、すでに設定されている手順 3 のいずれかの内容を表示させます

現在設定されているLFEアッテネータが表示されます。

3.

▽/△ ボタンを押して、LFE アッテネータを設定します

LFE ATT 0

減衰なし（初期設定値）。

LFE ATT 10

初期設定値からレベルを10dBアッテネート（減衰）します。

LFE ATT OFF

LFE 成分の音が出なくなります。

4. **決定を押して設定を終了します**

注 意

◆ ドルビーデジタルやDTSの信号のように、専用のLFEチャンネル（超低域成分）がある場合にのみ動作します。

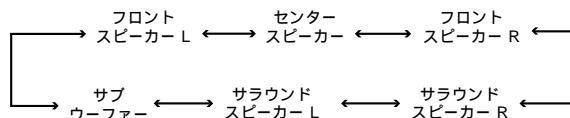
各スピーカーの音量バランスを調整する

1. **お好みのディスクを再生します**

お好きな曲を再生します。

2. **チャンネルレベルボタンを押します**

3.

◁/▷ ボタンを押して、音量バランスを調整するスピーカーを選択します

4.

△/▽ ボタンで、好みの音量に調整します

調整範囲は、±１０ｄＢです。

5. **決定ボタンを押して設定を終了します**

メ モ

▼ 各 DSP モードのそれぞれに対し、独立して音量バランスを設定することができます。
▼ サラウンドモードにて設定した音量バランスは、すべてのサラウンドモードに対して設定されます。
▼ サラウンドモードで SURROUND OFF を選択するか、AUTO を選択していて 2 チャンネル音声を再生中は、フロントスピーカー L/R とサブウーファーだけ調整することができます。

注 意

◆ この設定は、ヘッドホン出力には影響を与えません。

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

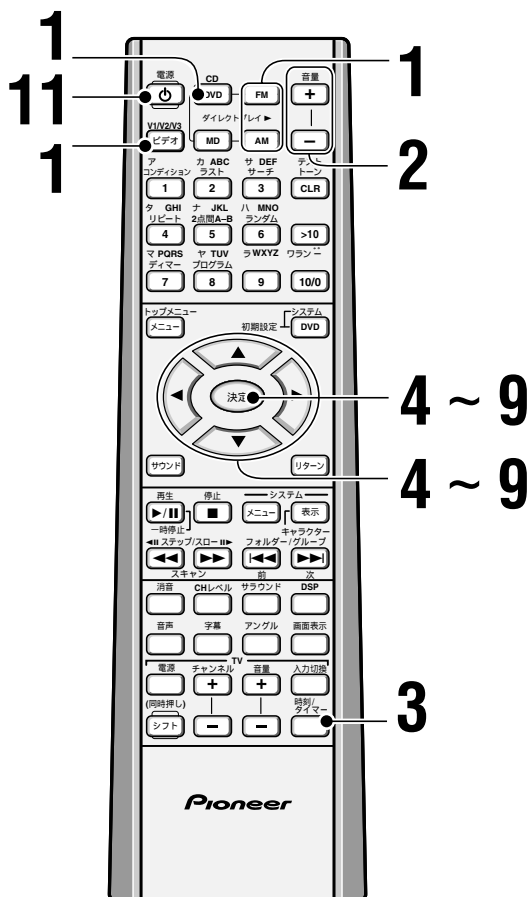
本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（16ページ参照）
◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅して動作しません。この場合はウェイクアップタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためてウェイクアップタイマーを設定し直してください。
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、タイマーは動作しません。

例 午前9時30分に再生がスタートし、午前11時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 再生させたい機器の準備をします

FM
AM

FM/AM 放送で目覚めるには....

FMボタンか**AMボタン**を押して、好きな放送局を受信しておきます。

CD DVD

CDやDVD、VCDで目覚めるには....

DVD/CDボタンを押してから、ディスクをセットしておきます。

V1/V2/V3 ビデオ

接続した外部機器で目覚めるには....

ビデオ切換ボタンを押してから、外部機器が動作するようにセットしておきます。

2. 音量の調整を行ないます

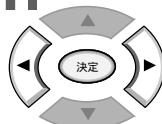
音量 ＋ −

設定した音量でタイマーがオンします。

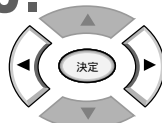
3. 時刻 / タイマーボタンを押します

時刻/タイマー

4. ◁/▷ ボタンを押して、"WAKE – UP" にしてから、決定ボタンを押します

決定

WAKE-UP

5. ◁/▷ ボタンを押して、" TIMER EDIT" にしてから、決定ボタンを押します

決定

TIMER EDIT

6. ◁/▷ ボタンで開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"9:00am"にします。

ON 9:00 am

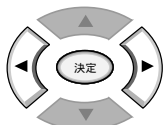
設定を間違えた場合は、**時刻 / タイマーボタン**を押して、もう一度手順4からやり直してください。

7.

◁/▷ボタンで開始時刻の「分」を合わせてから、エンターボタンを押します

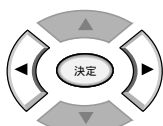
例の場合は、"30"にします。

ON　9:30　am

8.

◁/▷ボタンで終了時刻の「時」を合わせてから、エンターボタンを押します

例の場合は、"11:00am"にします。

OFF 11:30　am

9.

◁/▷ボタンで終了時刻の「分」を合わせてから、エンターボタンを押します

例の場合は、"15"にします。

OFF 11:15　am

10.

設定内容が表示されます

「開始時刻」

ON　9:30　am

↓

「終了時刻」

OFF 11:15　am

↓

「再生されるソース」

DVD/CD

↓

「音量」

VOLUME　12

↓

CHECK END

11.

電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

解除するには

目覚ましタイマーは、毎日同じ時刻に動作を開始します。ですから日曜日などに 目覚ましタイマーを動作させたくないときは、以下の手順でオフに設定します。
また、オンに再設定すると、前と同じ設定内容で目覚ましタイマーがセットされます。

1.

時刻 / タイマーボタンを押します

2.

◁/▷ ボタンを押して、"WAKE－UP"にしてから、決定ボタンを押します

WAKE-UP

3.

◁/▷ ボタンを押して、" TIMER OFF"にしてから、決定ボタンを押します

TIMER OFF

再設定する場合は、"TIMER ON"にします。

設定内容を確認するには

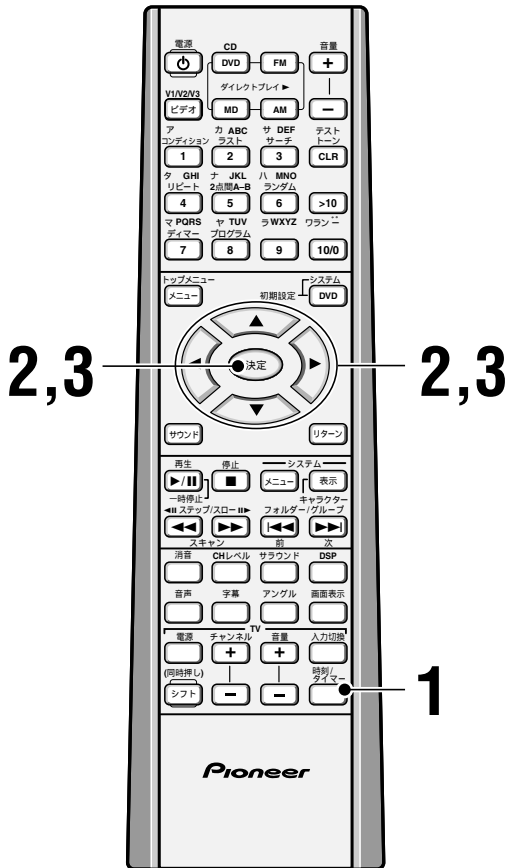
電源がオフのときに、時刻/タイマーボタンを押します

TIMER CHECK

「開始時刻」➡「終了時刻」➡「再生されるソース（DVD/CD、TUNERなど）」➡「音量」を順番に表示していきます。

タイマー動作

決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。

1. 再生中に、時刻/タイマーボタンを押します

時刻/タイマー

2. ◁/▷ボタンを押して、"SLEEP TIMER"にしてから、決定ボタンを押します

SLEEP TIMER

3. ◁/▷ボタンを押して、以下の中から時間を設定後、決定ボタンを押します

スリープオート *

SLEEP AUTO

90分後にオフ

SLEEP 90

60分後にオフ

SLEEP 60

30分後にオフ

SLEEP 30

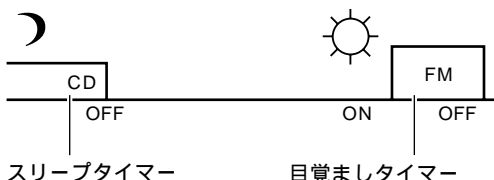
解除

SLEEP OFF

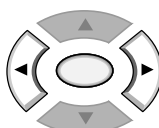
スリープタイマーをセットすると、☆☽ が点灯します。

* スリープオート(SLEEP AUTO)
CDまたはMP3ディスクの再生中に選ぶことができます。
再生が終了して本機が停止してから1分後に自動的に電源が切れます。
ただし、リピート再生が設定されていたり、DVDの再生やビデオCDでPBC再生が設定されている場合は、スリープオート(SLEEP AUTO)機能を使用できません。

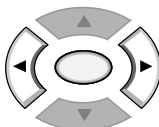
メモ

▼ スリープタイマーがセットされているときに、スリープタイマーの設定操作をすると、電源がオフするまでの時間を表示します。
▼ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

注意

◆ スリープ動作中は表示ユニットが暗くなります（ディマー機能/67ページ参照）
◆ スリープタイマーを解除するときは、電源をオフにするか、"SLEEP OFF"を選択します。
◆ スリープオートが動作中にファンクションを切りかえた場合は、1分後に電源がオフになります。

その他の設定

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。初期値は、12 時間表示になっています。

1.

電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

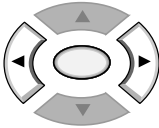
2. **システム メニューボタンを押します**

3.

◁/▷ ボタンを押して、"HOUR FORMAT" にしてから決定ボタンを押します

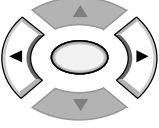
HOUR FORMAT

4.

◁ / ▷ ボタンを押して、"12-HOUR" か "24-HOUR" を選んでから、決定ボタンを押します

電源がオフになります。

確認音を消す

本体のボタンを操作したときの確認を、消すことができます。

1.

電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

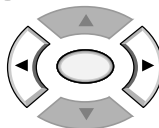
2. **システム メニューボタンを押します**

3. **◁/▷ ボタンを押して、"BEEP MODE" にしてから決定ボタンを押します**

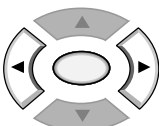
BEEP MODE

4.

◁/▷ ボタンを押して、"BEEP ON"か"BEEP OFF"を選んでから、決定ボタンを押します

電源がオフになります。

FM/AM の受信ステップ周波数を切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに設定されています。本機ではこのステップ周波数を、F M 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

1.

スタンバイ / オン ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

2. **システムメニューボタンを押します**

3.

◁/▷ ボタンを押して、"TUNER F.STEP" にしてから決定ボタンを押します

TUNER F.STEP

4.

◁/▷ ボタンを押して、"AM 9k/FM 50k" か "AM 10k/FM 100k" を選んで、決定ボタンを押します

電源がオフになります。

注 意

◆ AM 放送を 10kHz ステップに変更すると、国内のラジオ放送を受信することができなくなります。

ディスプレイ表示の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを、5 段階で切りかえることができます。ディマー機能といいます。

(同時押し) シフト ／ ディマー 7

シフトボタンを押しながらディマーボタンを押します

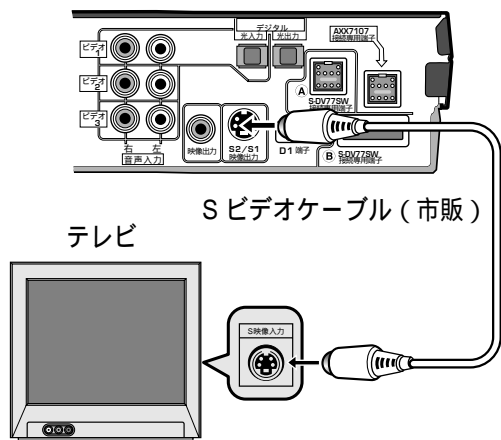
押すごとに、表示の明るさが 5 段階で切りかわります。

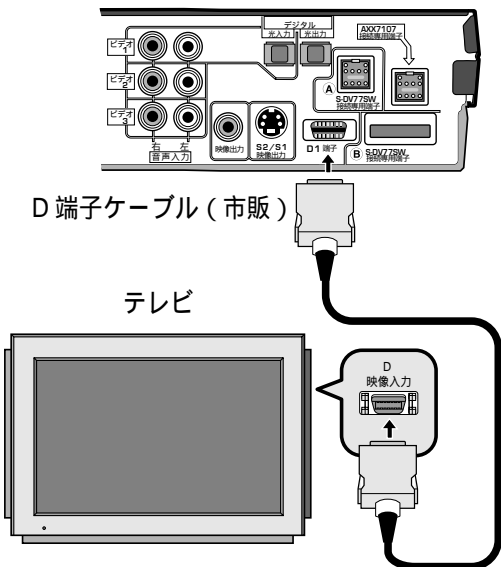
外部機器との接続

より鮮明な映像で見るには

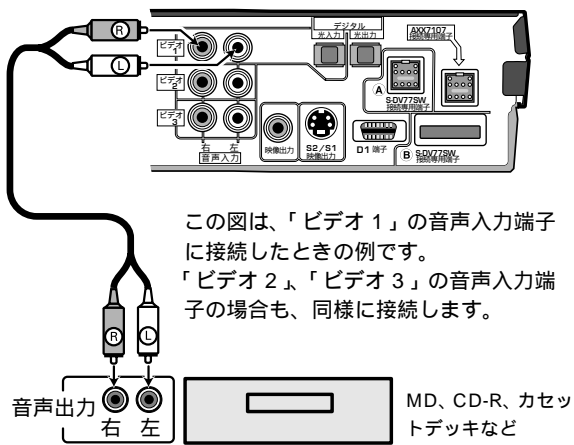
別冊の「システムセットアップガイド」では、付属の映像ケーブルを使用した接続方法でしたが、以下の接続を行うと、より鮮明な画像で DVD を楽しむことができます。

S 映像入力端子付きテレビの場合

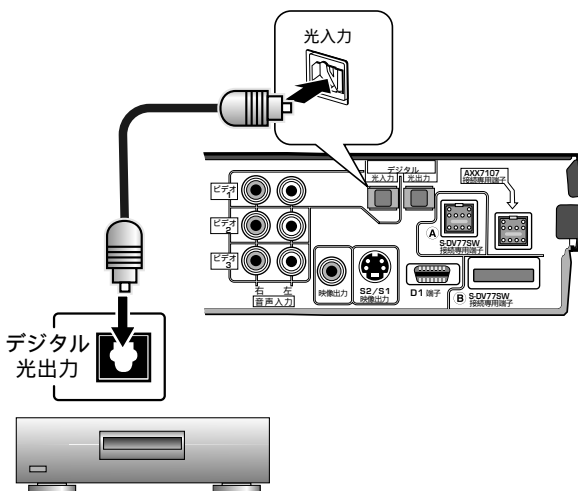
S映像入力端子を持っているテレビの場合、この端子を使うと、映像入力端子につなぐより鮮明な映像になります。
映像が横方向に引き伸ばしたように見える場合は、取扱説明書の 52 ページを参照して、S1 に設定してください。

D 端子対応のテレビの場合

D端子対応のテレビの場合、この端子を使うと、DVDを再生したときに、今までは気づかなかったような微妙な色の違いなどが鮮明に見えるようになります。

アナログ接続する場合

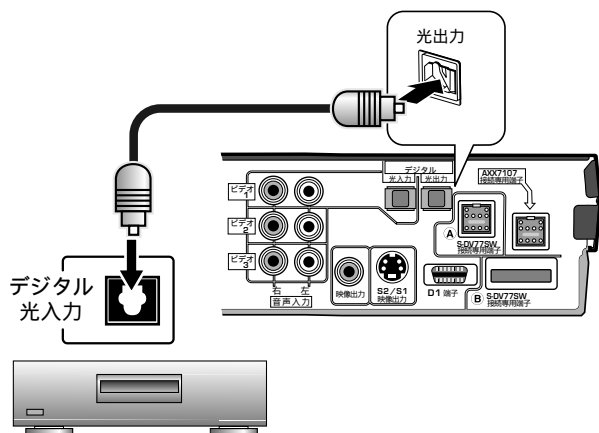
CD-R、MD、カセットデッキなどの機器を本機に接続し、接続した機器を本機で聞くことができます。

- 本機の音声入力端子**「ビデオ 1」**、**「ビデオ 2」**、**「ビデオ 3」**と接続した機器のオーディオ出力端子とを、別売のオーディオコードで接続します。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル光入力端子に接続する場合

BS チューナー、CS チューナー、MD、CD などの機器を本機にデジタルで接続し、本機で聞くことができます。

- 別売の光ケーブルで、本機の**デジタル光入力端子**と接続した機器のデジタル光出力端子とを接続します。
- 本機の**デジタル光入力端子**した機器の音声を聞く場合は、入力の切換えは**「ビデオ 1」**に設定します。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル光出力端子に接続する場合

MD、CD-Rなどの機器を本機に接続し、本機からの音を録音することができます。

- 別売の光ファイバーケーブルで、本機の**デジタル光出力端子**と、接続した機器のデジタル光入力端子とを接続します。
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

アナログ音声入力端子に接続した機器を聞くには

本機の音声入力端子**「ビデオ 1」**、**「ビデオ 2」**、**「ビデオ 3」**に接続した外部機器の音声を、本システムで楽しむことができます。

ビデオボタンを押します

押すごとに、入力されるアナログ音声入力端子が、**「ビデオ 1」➡「ビデオ 2」➡「ビデオ 3」**と切りかわります。
デジタル光入力端子に接続した機器を聞く場合は、**「ビデオ 1」**にします。

ビデオ 1 の入力を切りかえるには

本機の音声入力端子**「ビデオ 1」**に接続した外部機器の音声を、デジタル光端子かアナログ入力かを切りかえます。

1. ビデオボタンを押して、「ビデオ1」の入力端子を選びます

V1/V2/V3 ビデオ

2. システムメニューボタンを押します

3. ◁/▷ボタンを押して、"VIDEO1 INPUT" にしてから決定ボタンを押します

VIDEO1 INPUT

4. △/▽ ボタンを押して、"INPUT ANALOG"か"INPUT OPTICAL" を選びます

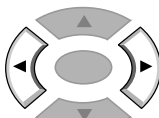
"INPUT ANALOG"を選択するとアナログ端子に切りかわり、"INPUT OPTICAL"を選択するとデジタル端子に切りかわります。

5. 決定ボタンを押します

決定

"INPUT OPTICAL"を選んだ場合は表示ユニットに"VIDEO1 OPT"と表示されます。

入力アッテネーターを使う

本機の音声入力端子**「ビデオ 1」**、**「ビデオ 2」**、**「ビデオ 3」**にアナログ接続した外部機器の音声を、本システムで再生していると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにセットすると改善されることがあります。
アッテネーターの設定は、**「ビデオ 1」**、**「ビデオ 2」**、**「ビデオ 3」**の各端子に設定することができます。

1. **電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします**

電源

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **◁/▷ ボタンを押して、"VIDEO ATT" にしてから決定ボタンを押します**

VIDEO ATT

4. **◁/▷ ボタンを押して、「ビデオ 1」、「ビデオ 2」、「ビデオ 3」のいずれかの端子を選びます**

5. **決定ボタンを押します**

6. **△/▽ ボタンを押して、"ATT ON" か "ATT OFF" を選んでから、決定ボタンを押します**

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

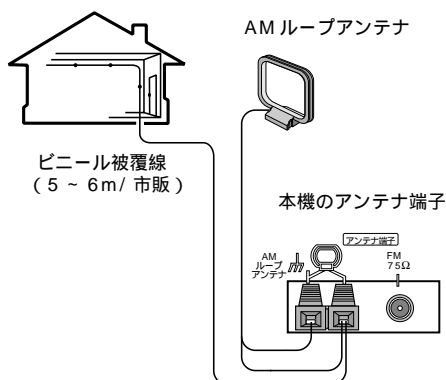
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

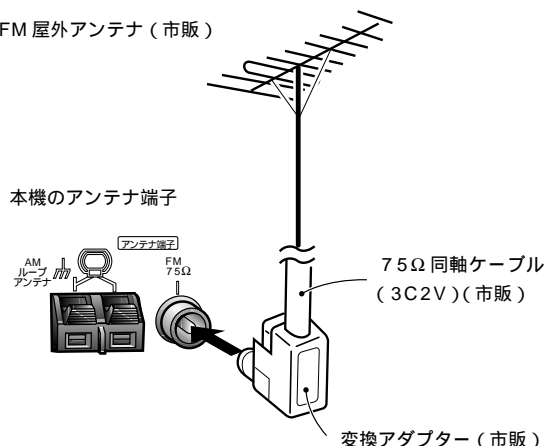
FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

AM アンテナをつなぐ

- AM外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。
- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を接続しても AM ループアンテナは外さないでください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

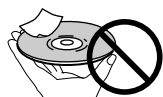
- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

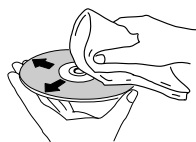
両手で持つ場合

片手で持つ場合

- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

■保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

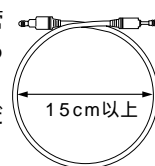
- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は***「保証とアフターサービス」***(**P.82**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光ファイバーケーブル(別売り)の取り扱い上の注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機の天面、側面、後面の放熱孔は塞がないように放置してください。放熱孔が塞がると内部が異常高温になり、火災の原因になることがあります。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮すると、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ビデオレコーディングフォーマット記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダー(DVR-1000、DVR-2000)ではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、「標準モード」とよばれる標準な画質で録画するモード(録画時間：2時間)と、「マニュアルモード」とよばれる画質、および録画時間を自由に設定して録画するモード(録画時間：1～6時間)があります。
本機ではこのフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
DVDの中には、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側でどのカメラの映像を再生するのかを自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョンNo.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVDマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダー(DVR-2000)ではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2時間)があります。
本機ではこのフォーマットで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDのデジタル音声がPCMです。

5.1ch
フロント左/右、センター、リア左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタルやDTSといったサラウンドシステムで採用されています。

こんな表示が出たとき

（本体表示部） **OPTION ERROR**

オプションＭＤプレーヤーの異常を検知すると、「Good Bye」も表示せずに電源がオフになり、タイマーインジケーターが緑色に点滅します。
再び本機の電源をオンにすると使用することはできますが、このときにオプションMDプレーヤーの異常を知らせるために表示されます。この場合、オプションMDプレーヤーは、電源がオフのままで使用することはできません。
最寄りの弊社サービスステーションにご連絡ください。

（本体表示部） **DVD 3.3 ERROR**

本機DVDチューナーの異常を検知すると、このようなメッセージが表示されて電源がオフになります。
最寄りの弊社サービスステーションにご連絡ください。

（本体表示部） **CHILD LOCK**

81ページのチャイルドロック機能がセットされているときに、DVDチューナーの操作ボタンを使用すると、表示されます。チャイルドロック機能がセットされているときは、DVDチューナーの操作ボタンは使用することはできません。解除してから操作してください。

（本体表示部） **Can’t Work**

- ヘッドホンを挿入しているときに、低音を強調して再生（P.BASSをONに設定/31ページ参照）の操作をすると表示されます。
- 15ページのスピーカー出力レベルの設定にて、"**SURROUND OFF**"か"**AUTO**"のサラウンド設定でテストトーンを出力しようとすると表示されます。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？…と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外なミスが故障と思われています。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。
以下の項目をチェックしても直らない場合は、修理を依頼してください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントから抜けている。 ● ケーブルが抜けている。	● 壁のコンセントに差し込む。 ● 接続を確認して、確実にコネクターを挿入する。
操作ボタンを押しても動作しない。	● 空気が乾燥しているとき、静電気などの影響を受けている。	● 電源プラグを一度コンセントからはずして、再び差し込む。
音が出ない。	● ミューティング状態になっている。 ● ボリュームが下がっている。 ● スピーカーの接続がはずれている。 ● ヘッドホンが接続されている。 ● 音量が下がっている。	● リモコンの消音ボタンを押す。 ● 音量を調節する。 ● 接続する。 ● ヘッドホンを抜く。 ● 音量を上げる。
映像や音が出ない。	● 接続が正しくない。	● 別冊の「HTZ-77DVをセッティングしましょう」を参照して、接続を直す。
スタンバイインジケーターが赤く点滅して、電源が入らずなんの操作もできない。	● アンプ部の異常を検知して、「Goob Bye」も表示ないまま電源がオフになった。	● アンプ回路の異常ですので、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。
ラジオ放送で雑音が多い。	● システムケーブル、コントロールケーブル、ドルビーデジタルRFやデジタル信号の接続線がアンテナ端子やアンテナ線の近くを通っている。またはディスプレイユニットとアンテナが近い。	● アンテナ端子やアンテナ線から、ケーブル、接続線を離す。ディスプレイユニットをアンテナから離す。
リモコン操作ができない。	● リモコンの電池が消耗している。 ● ディスプレイユニットとの距離が離れすぎている。角度が悪い。またはディスプレイユニットにリモコンを向けていない。 ● 途中に信号を遮る障害物がある。 ● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。	● 電池を交換する。(別冊の「HTZ-77DVをセッティングしましょう」参照) ● 7m以内、左右30°以内で操作する。 ● 障害物を取り除くか操作する場所を移動する。 ● リモコン受光部に光が直接当たらないようにする。
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクトレイに正しくセットされていない。 ● リージョンNO.が一致していない。 ● 本機の内部が結露している。 ● PAL方式やSECAM方式のディスクでは再生できません。 ● ディスクを表裏逆に入れている。 ● ファイナライズされていないCD-R/CD-RWを使用している	● 71ページを参照して、ディスクをクリーニングしてみる。 ● 71ページを参照して、ディスクを正しくセットする ● リージョン**「2」**か**「ALL」**のディスクを使用する。 ● しばらく放置しておく。 ● NTSC方式のディスクを使用してください。 ● ディスクを正しくセットし直す ● CD-Rレコーダーにて、ファイナライズ処理をする。

症状	原因	処置
マークが画面に出る	● ディスク自体が禁止している操作です。	● 操作できません。
マークが画面に出る	● プレーヤーがその操作を禁止しています。	● 操作できません。
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない	● 一度、停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。	● 18ページを参照して、操作してください。
設定内容が消える	● 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。	● もう一度設定し直してください。
画面が伸びる、またはアスペクトが切り替わらない	● マルチアスペクトの設定が合っていない。	● 12ページを参照して、マルチアスペクトの設定をしてください。
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。	● ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。
DVD映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。	● ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。
音が出ない、音が歪む	● デジタル出力のリニアＰＣＭの設定が96kHzに設定されている。 ● ディスクが汚れている。	● ディスクによっては、デジタル出力を禁止しているものがあります。 ● 71ページを参照して、ディスクをクリーニングしてみる。
DVDとCDで音量差を感じる	● これはディスクの記録方式の違いによるものです。	● 故障ではありません。
MP3ファイルを記録したディスクを再生することができない。	● MP3ファイルを記録したディスクがファイナライズされていない。 ● 記録したディスクがISO9960フォーマットに準拠していない。 ● MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されていない。	● ファイナライズを行ってください。 ● 画面に「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示されます。 ● 画面に「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示されます。
ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択することができない。	● 本機では「.mp3」、または「.MP3」以外の拡張子がついているファイルを認識することはできません。 ● 本機では251以上のフォルダー、またはトラックを認識することはできません。 ● 本機はマルチセッションに対応していません。	● 拡張子を「.mp3」、または「.MP3」に変更してください。 ● 故障ではありません。 ● 再生するディスクがマルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。

ご注意：

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。
これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力（EIAJ）
　フロント（1 kHz、10 %、8 Ω）........................ 40 W x 2
　リア（1 kHz、10 %、8 Ω）.............................. 40 W x 2
　センター（1 kHz、10 %、8 Ω）............................. 40 W
　サブウーファー（100 Hz、10 %、4 Ω）................. 65 W

■ DVD 部（音声）

S/N ....100 dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ .... 97 dB（EIAJ）
歪 .... 0.004 %
周波数特性
　48 kHz サンプリング .... 4 Hz ～ 22 kHz
　96 kHz サンプリング .... 4 Hz ～ 44 kHz
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

■ DVD 部（映像）

映像出力
　出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
　出力端子 .... RCA端子
S2 映像出力
　Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
　C出力レベル .... 286 mVp-p(75Ω)
　出力端子 .... S端子
D1 端子
（Y/CB/CR）
　Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
　CB/CR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75Ω)
　出力端子 .... D端子

■ DVD 部（その他の端子）

デジタル光入力...光デジタル端子
デジタル光出力...光デジタル端子

■ チューナ部

FM チューナー
　受信周波数 .... 76.0 ～ 108.0 MHz
　アンテナ .... 75 Ω不平衡型
AM チューナー
　受信周波数 .... 522 kHz ～ 1,629 kHz
（9 kHz ステップ）
.... 530kHz ～ 1,700kHz
（10 kHz ステップ）
　アンテナ .... ループアンテナ（付属）

■ 電源部

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 136 W
スタンバイ時消費電力 .... 1 W

■ その他

DVD/CD チューナー(XV-DV77)
　外形寸法 .... 220（幅）X 317（奥行）X 65（高さ）mm
　質量 .... 2.5 kg
ディスプレイ(AXX7107)
　外形寸法 .... 206（幅）X 50（奥行）X 65（高さ）mm
　質量 .... 0.2 kg

許容動作温度 .... ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度 .... 5 %～ 85 %(結露のないこと)

■ スピーカーシステム部

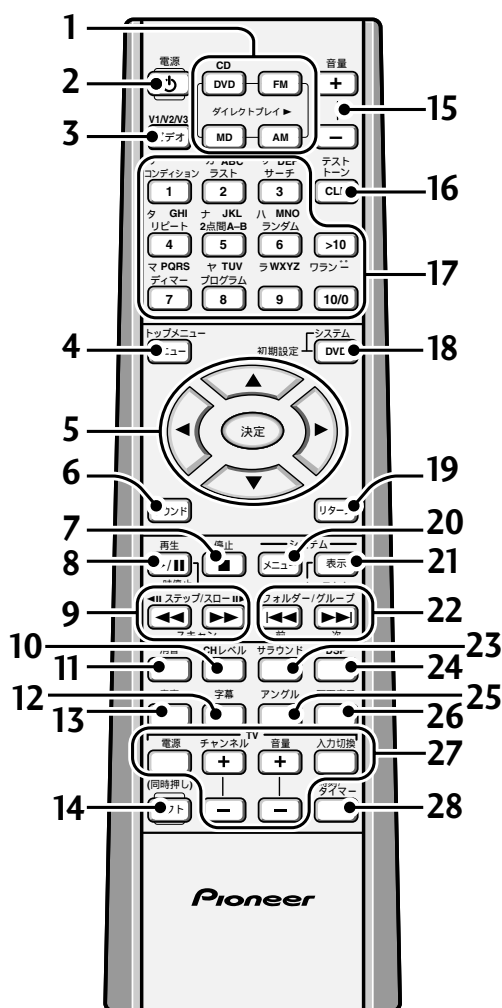
フロント / サラウンド（リア）スピーカー (S-DV77ST)
　型式 .... 密閉式、防磁設計（EIAJ）
　使用スピーカー .... 8.7cm（コーン型）
　　公称インピーダンス .... 8 Ω
　再生周波数帯域 .... 100 ～ 20,000 Hz
　最大入力 .... 40 W（EIAJ）
　外形寸法 .... 112（幅）X 77（奥行）X 144（高さ）mm
　質量 .... 0.77 kg
センター・スピーカー (S-DV77ST)
　型式 .... 密閉式、防磁設計（EIAJ）
　使用スピーカー .... 8.7cm（コーン型）
　　公称インピーダンス .... 8 Ω
　再生周波数帯域 .... 100 ～ 20,000 Hz
　最大入力 .... 40 W（EIAJ）
　外形寸法 .... 196（幅）X 76（奥行）X 105（高さ）mm
　質量 .... 0.82 kg
パワードサブウーファー (S-DV77SW)
型式 .... バスレフ式フロア型、防磁設計（EIAJ）
使用スピーカー
　ウーファー .... 16 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 31 ～ 300 Hz
最大入力 .... 65 W（EIAJ）
外形寸法 .... 190（幅）X 418（奥行）X 420（高さ）mm
質量 .... 13.9 kg

■ 付属品

リモコン.. 1
ディスプレイユニット 1
AM ループアンテナ 1
FM アンテナ 1
ビデオコード 1
単 3 形乾電池（R6P/AA）.. 2
電源コード 1
コントロールケーブル A 1
コントロールケーブル B 1
ディスプレイケーブル 1
滑り止めパッド（フロント / サラウンド / センター用）.... 19
滑り止めパッド（パワードサブウーファー用）...................... 4
スピーカーコード（5 m）.. 3
スピーカーコード（10 m）.. 2
取扱説明書（本書）.. 1
システムセットアップガイド 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
保証書 1

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称

リモコン

1　DVD/CD ボタン（18 ページ）

DVD、ビデオ CD、CD の再生をするときに使用します。電源がオフのときでも、ディスクがセットされているときに押すと、電源がオンして再生を始めます。

FM ボタン（22,25,26 ページ）

FM放送を聞くときに使用します。電源がオフのときでも、電源がオンして FM 放送を聞くことができます。

AM ボタン（22,25,26 ページ）

AM放送を聞くときに使用します。電源がオフのときでも、電源がオンして AM 放送を聞くことができます。

MD ボタン

オプションの MD レコーダーを使用するときに押します。

2　電源 ⏻ ボタン

本機の電源を ON/OFF するときに押します。

3　ビデオボタン（69 ページ）

本機に接続したテレビなどの外部機器の音声入力端子を切りかえるのに使用します。

4　トップメニューボタン（18 ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。
DVD ソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

メニューボタン（18,35 ページ）

DVD ソフトのメニュー画面を表示します。

5　△/▽/◁/▷ ボタン

メニュー表示にしたがって設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。

決定ボタン

設定した項目を実行します。

6　サウンドボタン（29 ～ 32 ページ）

音質調整をするときに押します。

7　停止(■)ボタン

ディスクの再生を止めます。

8　再生 / 一時停止ボタン(►/II)ボタン

ディスクの再生を開始します。
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

9　ステップ / スロー（◄II II► ）ボタン（33 ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。
◄II ： 一度押すとコマ戻し再生します。押し続けると逆方向にスロー再生します。
II► ： 一度押すとコマ送り再生します。押し続けると前方向にスロー再生します。

◄◄ ►► ボタン （21,22 ページ）

映像や音声の早送りや早戻しをします。またラジオの放送局を受信したときに使用します。

10　チャンネルレベルボタン（63 ページ）

スピーカーレベルを調整するときに、スピーカーを切りかえるときに押します。

11 ミュートボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

12 字幕ボタン（44 ページ）
DVD の字幕言語を切り換えます。

13 音声ボタン（45 ページ）
言語または音声を切り換えます。

14 シフトボタン
リモコンのボタンの機能を切りかえるときに押します。

15 音量ボリューム（+/ −）ボタン
本機の音量を調節するとき押します。

16 テストトーンボタン（15 ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。
スピーカーレベルを調整するとき、テストトーンを鳴らすときに押します。

クリアーボタン（37,38,41 ページ）
直前に入力した数字を取り消したいときに押します。また、リピート再生、ランダム再生、プログラム再生を取り消すときやメモリーを消去するときに使用します。

17 数字ボタン
見たい / 聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。
また、シフトボタンを押しながら使用すると、以下のさまざまな目的に対応します。

コンディションボタン（45 ページ）
DVD の設定を記憶します。

ラストボタン（43 ページ）
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします。

サーチボタン（34 ページ）
サーチの種類を選ぶときに押します。

リピートボタン （37 ページ）
DVDではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。ビデオCD、またはCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。

2 点間 A-B ボタン（37 ページ）
再生中このボタンを押すと、指定した 2 点間を繰り返し再生します。

ランダムボタン （38 ページ）
DVD ではタイトルやチャプター、ビデオ CD または CD ではトラックを順不同に再生します。

ディマーボタン（67 ページ）
ディスプレイユニットの照明を調整します。

プログラムボタン（39 ～ 42 ページ）
DVDではタイトルやチャプター、ビデオCD、またはCDではトラック番号をプログラムして好きな順に再生します。

18 システム初期設定ボタン（13,62～63ページ）
スピーカーシステムの初期設定をするときに使用します。

DVD 初期設定ボタン（10,49 ページ）
DVD の初期設定を表示します。

19 リターンボタン（18 ～ 19 ページ）
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと 1 つ前の項目に戻ります。

20 システムメニューボタン（67,69～70ページ）
確認音のオン / オフ、デモモードの解除、ラジオの受信ステップ周波数の変更を行うときに使用します。

21 システム表示ボタン（16 ページ）
時計を表示をするときに押します。

22 前 / 次ボタン（19 ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。
DVDのメニュー画面のページを、進ませたり戻したりします。

⏮ ⏭ ボタン（20 ページ）
場面や曲の頭出しをします。

23 サラウンドボタン （29 ページ）
このモードでは、自動的に入力信号に合せてドルビーデジタル、ドルビープロロジック、またはDTSサラウンドモードが ON になります。

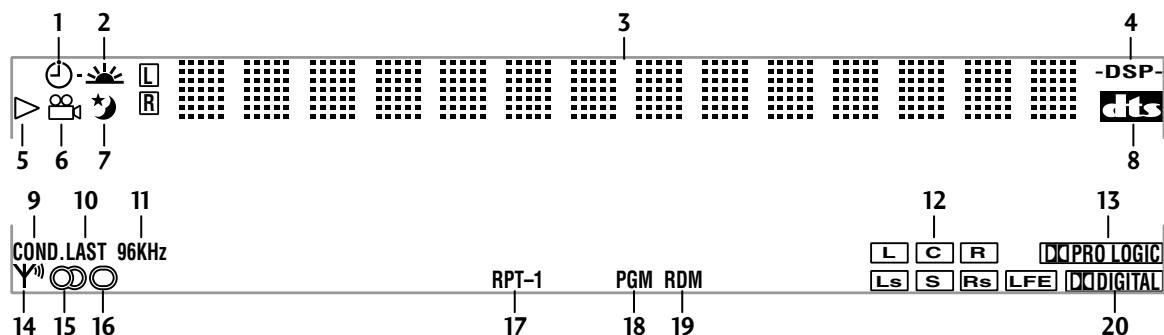
24 DSP ボタン（30 ページ）
DSP モードを選択します。

25 アングルボタン （44 ページ）
DVD のアングルを切り換えます。

26 DVD 画面表示ボタン（46 ～ 48 ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。
DVD のディスクの情報を見るときに使用します。

27 テレビコントロールボタン（17 ページ）
リモコンにテレビメーカーのコードを入力すると、お使いのテレビの電源のオン / オフ、チャネル合わせ、音量調整、入力切換を行うことができます。

28 時刻 / タイマーボタン（16,64～66ページ）
時計を合わせたり、目覚ましタイマーをセットするときに使用します。

表示部

1　タイマー（64 ～ 65 ページ）
目覚ましタイマー設定されていると点灯します。

2　目覚ましタイマー（64 ～ 65 ページ）
目覚ましタイマー設定時に点灯、動作時に点滅します。

3　キャラクター表示部
数字が表示されている場合は、左からディスク番号、タイトル番号、チャプターまたは曲番号、分、秒を表します。

4　DSP （30 ページ）
DSP モードを選択時に点灯します。

5　▷ （18 ページ）
ディスクの再生中に点灯し、一時停止中に点滅します。

6　（44 ページ）
マルチアングル再生中を示します。

7　スリープタイマー作動中（66 ページ）
スリープタイマー設定 / 動作時に点灯します。

8　DTS （6 ～ 7 ページ）
DTS のソフトを再生すると点灯します。

9　COND.（45 ページ）
再生の設定(コンディション)が記憶されていることを示します。

10　LAST（43 ページ）
つづき再生記憶中を示します。

11　96kHz
サンプリング周波数が 96kHz のディスクを再生すると点灯します。

12　L、Ls、C、S、R、Rs、LFE
設定されているチャンネルが点灯します。
ドルビーデジタル信号、またはDTS信号入力時に、LFE (Low Frequency Effect＝超低音の効果音)チャンネルが再生ソース中に設定されている場合は、LFEが点灯します。

13　PRO LOGIC（6 ～ 7 ページ）
ドルビープロロジック再生中を示します。
DIGITAL と PRO LOGIC が同時に点灯するときドルビープロロジックエンコードされたドルビーデジタル再生中を示します。

14　受信中（22 ページ）
放送局受信時に点灯します。

15　ステレオ受信中（23 ページ）
ステレオ放送受信時に点灯します。

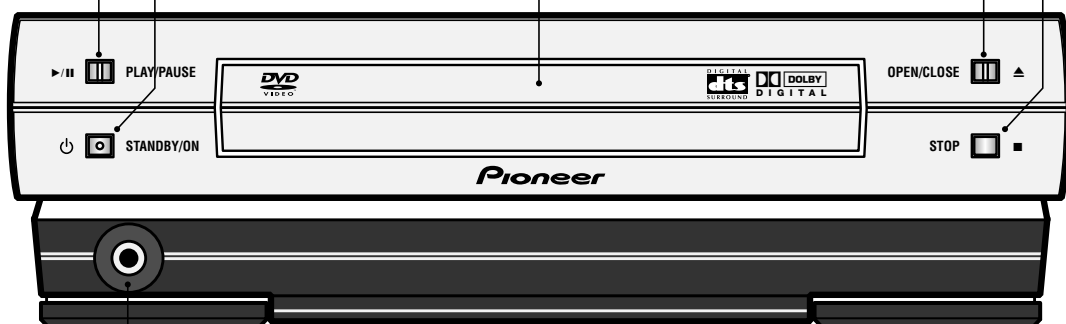
16　モノラル設定中（23 ページ）
モノラルモード時に点灯します。

17　RPT-1（37 ページ）
リピート演奏中に点灯します。RPT-1と表示されたときは、1 曲リピートが選択されていることを示します。

18　プログラム（39 ～ 42 ページ）
プログラム演奏中に点灯します。

19　ランダム（38 ページ）
ランダム演奏中に点灯します。

20　DIGITAL（6 ～ 7 ページ）
ドルビーデジタル再生中を示します。

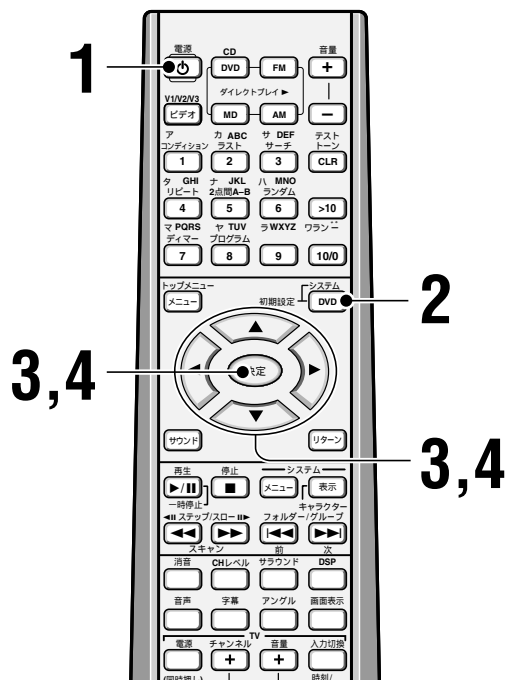
DVD チューナーユニット

ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16Ω～50Ω（推奨32Ω）で、直径3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

チャイルドロック機能

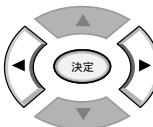
この機能をオンにすると、本体の操作ボタンがすべて使用できなくなります。

1. 電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

電源

2. システム初期設定ボタンを押します

システム 初期設定 DVD

3. ◁/▷ ボタンを押して、"CHILD LOCK"にしてから決定ボタンを押します

決定

CHILD LOCK

4. △/▽ ボタンを押して、"LOCK ON"か"LOCK OFF"を選んでから、決定ボタンを押します

決定

日ごろのお手入れ

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。
近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後、DAT/テープデッキについては最低６年間、ステレオ製品については最低８年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

73～75ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD5.1ch サラウンドシステム
- 型番：HTZ-77DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い

修理のために本機をお持ちいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

デモ表示について

表示部に自動的にいろいろな表示が行われることを、デモ表示といいます。以下のような場合にデモ表示が行われます。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- ＤＶＤやＣＤの再生が終了して５分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

注 意

◆ デモ表示の解除をセットした場合でも、停電や電源プラグを抜いた状態で 12 時間以上放置しますと、再度電源プラグをコンセントに差した時にデモモードを表示する場合があります。

デモ表示を解除するには

デモ表示が行われているときに、以下の手順で解除します。

1. 電源がオフ中に、システムメニューボタンを押します。
2. ◁/▷ボタンを押して、"**DEMO MODE**"にしてから決定ボタンを押します。
3. ◁/▷ボタンを押して、"**DEMO OFF**"を選んでから、決定ボタンを押します。
   「DEMO OFF」と表示して、電源がオフになります。
   デモ表示を再び表示させるときは、手順 3 で "**DEMO ON**" を選んでから決定ボタンを押します。

デモ表示を一時的に解除するには

本体の操作ボタンを押します。一時的にデモ表示を解除します。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアステーションに点検（有料）をご依頼ください。

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7128-B>

<TSWZW/01D00001>